

ロゴキーヤー
LK-90HD/SD
LOGO KEYER
取扱説明書

必ずお読みください！

ビデオトロン株式会社

この製品を安全にご使用いただくために



誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

1、電源プラグ、コードは

- ・指定された電源電圧 (AC100V 50/60Hz) 以外では使用しないでください。
- ・AC 電源 (室内電源) の容量を超えて機械を接続し長時間使用すると火災の原因になります。
- ・差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。
- ・濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。
- ・抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。
- ・コードは他の機器の電源ケーブルや他のケーブル等にかませないでください。
- ・コードの上に重い物を載せないでください。電源がショートし火災の原因になります。
- ・機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にしてからプラグを抜いてください。

2、本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

- ・すぐに電源スイッチを切ってください。ただし、電源回路上、切れない場合があります。その時は電源プラグを正しく抜いてください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザーによる警報音が出た場合にはすぐに電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。
- ・上下に設置されている機械の電源スイッチまたはメインのブレーカーを切ってください。
- ・空調設備を確認してください。
- ・しばらく、手や体を触れないでください。ファンの停止が考えられます。設置前にファンの取り付け場所を確認しておきファンが停止していないか確認をしてください。5年に一度はファンの交換をおすすめします。
- ・機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり火災の原因になります。
- ・消火器は必ず1本マシンルームに設置し緊急の場合に取り扱えるようにしてください。
- ・弊社にすぐ連絡ください。

3、機械の近くでは飲食やタバコ、火気を取り扱うことは絶対に行わないでください。

- ・特にタバコ、火気を取り扱うと電気部品に引火し火災の原因になります。
- ・機械の近く、またはマシンルーム等の密閉された室内で可燃性ガスを使用すると引火し火災の原因になります。
- ・コーヒーやアルコール類が電気部品にかかると危険です。

4、修理等は、ご自分で勝手に行わないでください。

下記のあやまちにより部品が発火し火災の原因になります。

- ・部品の取り付け方法 (極性の逆等) を誤ると危険です。
- ・電源が入っている時に行くと危険です。
- ・規格の異なる部品の交換は危険です。

5. その他

- ・長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。
 - ・重量のある機械は1人で持たないでください。最低2人でかかえてください。腰を痛めるなど、けがのもとになります。
 - ・ファンが回っている時は手でさわらないでください。必ず停止していることを確かめてから行ってください。
 - ・車載して使用する時は確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。
 - ・本体のラックマウントおよびラックの固定はしっかり建物に固定してください。地震などによる災害時危険です。
- また、地震の時は避難の状況によりブレーカーを切るか、火災に結び付かない適切な処置および行動を取ってください。そのためには日頃、防災対策の訓練を行っておいてください。
- ・機械内部に金属や導電性の異物を入れないでください。回路が短絡して火災の原因になります。
 - ・周辺の機材に異常が発生した場合にも本機の電源スイッチを切るか電源プラグを抜いてください。



注意

誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

1. 操作卓の上では飲食やタバコは御遠慮ください。

コーヒーなどを操作器内にこぼしスイッチャー部品の接触不良になります。

2. 機械の持ち運びに注意してください。

落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。

また、足元に落としたりしますと骨折等けがの原因になります。

3. フロッピーディスクやMOディスクを取り扱う製品については

・規格に合わないディスクの使用はドライブの故障の原因になります。

マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。

・長期に渡り性能を維持するために月に一回程度クリーニングキットでドライブおよびMOディスクをクリーニングしてください。

・フィルターが付いている製品はフィルターの清掃を行ってください。

通風孔がふさがり機械の誤動作および温度上昇による火災の原因になります。

・強い磁場にかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データーに影響を及ぼす場合があります。

・湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。

・大切なデーターはバックアップを取ることをおすすめします。

●定期的なお手入れをおすすめします。

- ・ほこりや異物等の混入により接触不良や部品の故障が発生します。
- ・お手入れの際は必ず電源を切ってプラグを抜いてから行ってください。
- ・正面パネルから、または通風孔からのほこり、本体、操作器内部の異物等の清掃。
- ・ファンのほこりの清掃
- ・カードエッジコネクタタイプの基板はコネクタの清掃を一月に一度は行ってください。

また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。
安心してご使用していただくために定期的な(5年に一度)オーバーホール点検をおすすめします。
期間、費用等につきましては弊社までお問い合わせください。

**上記現象以外でも故障かなと思われた場合は弊社にご連絡ください。

☆連絡先……ビデオトロン株式会社

〒193-0835 東京都八王子市千人町2-17-16

TEL 042-666-6329

FAX 042-666-6330

受付時間 8:30~17:00

E-Mail Mailcs@videotron.co.jp

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話 042-666-6311

緊急時 ** 090-3230-3507

受付時間 9:00~17:00

**携帯電話の為、通話に障害を起す場合がありますので、あらかじめご了承ください。

..... 目次

この製品を安全にご使用いただくために.....	I
1. 概説	1
《特長》.....	1
2. 機能チェック	2
1. 構成.....	2
(1) 本体.....	2
(2) 操作パネル.....	2
(3) パネルセクター.....	2
2. 機能チェック接続図.....	3
3. POWER ON までの手順.....	4
4. 基本動作チェック.....	4
3. 各部の名称と働き	5
1. 本体正面.....	5
2. 本体背面.....	7
3. 操作パネル正面.....	9
4. 操作パネル側面.....	11
5. パネルセクタ正面.....	12
6. パネルセクタ背面.....	12
4. 操作方法(本体正面)	13
1. 基本操作.....	13
2. SYSTEM の設定.....	14
(1) SYSTEM PHASE.....	14
3. TRANS の設定.....	15
4. FILL の設定.....	15
(1) VARI COLOR の設定方法.....	16
5. EDGE の設定.....	17
(1) VARI COLOR の設定方法.....	18
6. キーのクリップ設定.....	18
7. ベースカラーの設定.....	21
8. FILE MODE.....	22

5. 操作方法(操作パネル)	28
1. 基本操作	28
2. SYSTEM の設定	28
3. キーのクリップ設定	29
4. パネルロック	29
5. 編集する本体の割り当て	29
6. 編集する本体の選択	29
7. スーパーチャンネルの選択(FILL、EDGE COLOR、EDGE WIDTH)	29
8. フィルの設定	29
9. エッジカラーの設定	30
10. エッジの設定	30
11. スーパー素材の選択	31
12. ファイルチェンジ	31
13. フェード、カットの選択	31
14. フェードスピードの設定	31
15. TAKE ボタン	31
16. BOTH ボタン	31
17. WRITE ボタン	32
18. サムネールの表示	32
19. ファイルの読み出し	32
20. 読み込んだファイルをスーパーする	33
21. ファイルの書き込み	33
22. ファイルのコピー	34
23. ファイルの削除	34
24. ドライブのフォーマット	35
6. FTP 転送	36
1. 概 要	36
2. 接 続	36
3. ネットワーク設定	36
4. ネットワーク接続の確認	36
5. 転送ファイル仕様	37
6. FTP 転送操作手順(例)	38
7. 外部インターフェース	39
1. GPI コネクタ	39
2. RS-422 コネクタ	40
3. 10/100BASE コネクタ	41
4. SCSI コネクタ	エラー! ブックマークが定義されていません。
5. TALLY コネクタ	42
8. トラブルシューティング	43

9. 保守・点検.....	44
1. 電源ヒューズの交換方法.....	44
10. 仕様.....	45
1. 定格.....	45
2. 性能.....	46
3. 機能.....	46
11. 系統図.....	48
12. 外形寸法図.....	49

1. 概 説

本装置は、ハイビジョンおよびスタンダードのSDIに対応する小型・軽量のカラースーパー及びフィル信号とキー信号素材をファイルする装置です。フィル信号とキー信号素材をファイルしてありますので本線映像を入力すれば簡単にスーパーインポーズができます。ファイル素材を2チャンネルスーパーでき、またファイル素材と入力素材を同時にスーパーすることもできます。キー信号がない素材はセルフキーで綺麗にスーパーインポーズできます。また内部着色機能でキー信号のみでスーパーやエッジに着色できます。

《特 長》

- 1U サイズで小型・軽量
- 外部キーとセルフキーの自動切り替えが可能
- キー、フィル素材の1500枚のファイル
- 2チャンネルスーパーが可能
- Y+Cのセルフキーで低輝度のカラー信号も綺麗に抜くことが可能
- クロマキーに対応
- フロントパネルで操作が簡単
- スーパーとエッジに任意の着色
- プレビュー出力にセーフティマーカークが合成可能
- エマージェンシー スルーに対応 (LINE OUT1)
- 1080i、720p、525iの各フォーマットに対応
- 電源2重化に対応
- ファイル読み出し中でもLAN転送を受け付け

2. 機能チェック

1. 構成

(1) 本体

番号	品名	形名・規格	数量	記事
1	ロゴキヤー本体	LK-90HD/SD	1 台	
2	電源ケーブル		2 本	
3	ヒューズ	3 A	6 本	
4	マウントビス	5 mm	4 本	
5	取扱説明書		1 部	本書

(2) 操作パネル

番号	品名	形名・規格	数量	記事
1	操作パネル	LK-90HD/SD	1 台	
2	電源ケーブル		1 本	
3	コントロールケーブル	10 m	1 本	
4	ヒューズ	2 A	3 本	
5	マウントサッシ		2 本	
6	マウントビス	5 mm	4 本	

(3) パネルセクター

番号	品名	形名・規格	数量	記事
1	パネルセクター	PANEL SELECTOR	1 台	
2	電源ケーブル		1 本	
3	ヒューズ	2 A	3 本	
4	マウントビス	5 mm	4 本	

2 機能チェック接続図

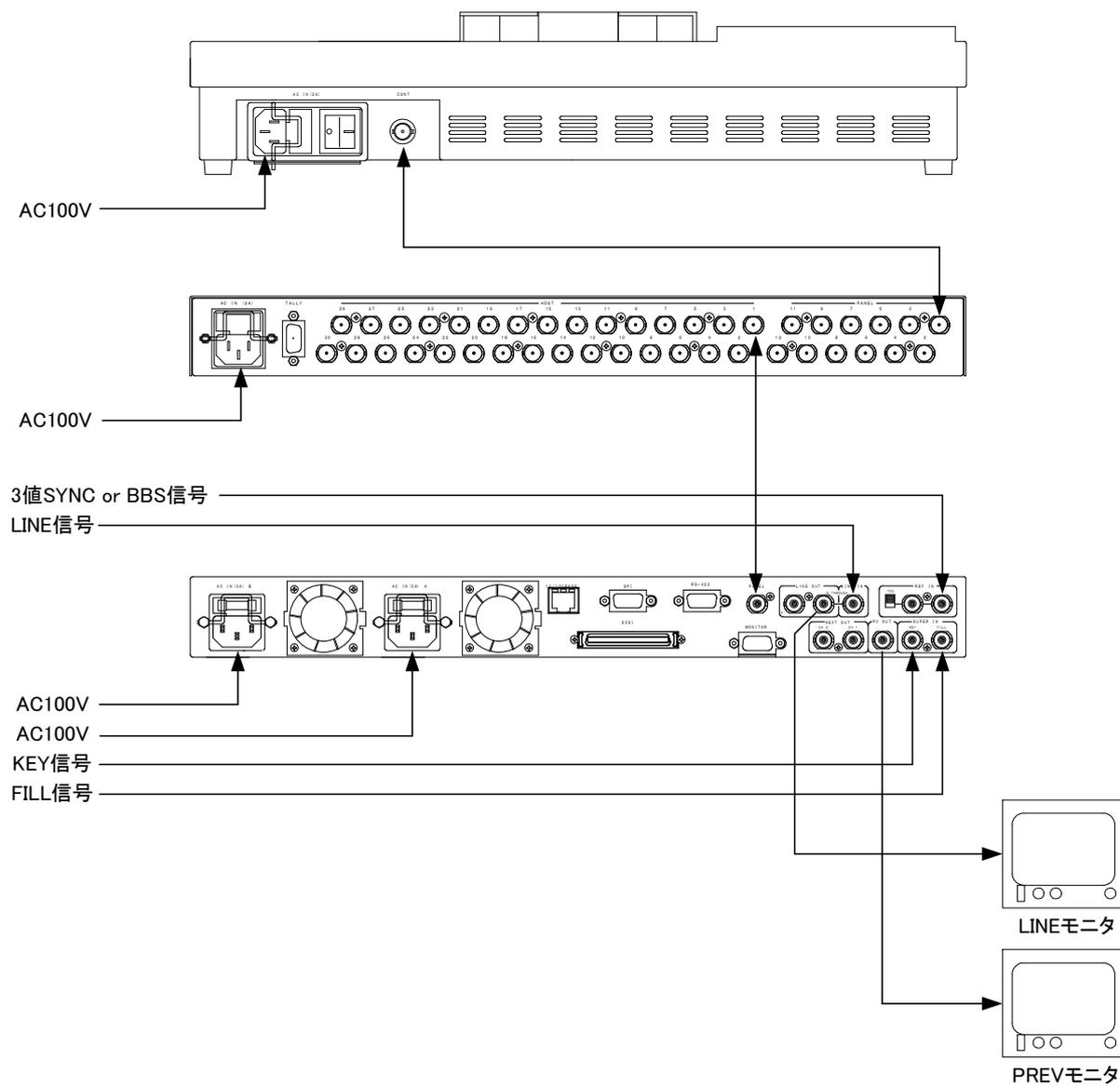


図2-1 接続例

3. POWER ON までの手順

- (1) 本体、操作パネル、パネルセレクトターの電源プラグをAC100Vのコンセントに挿入します。
- (2) 操作パネルのCONTとパネルセレクトターのPANEL1間、パネルセレクトターのHOST1と本体のPANEL間を各々同軸ケーブルで接続します。
- (3) REF INに3値SYNCまたはBBS信号を入力します。75Ω 終端スイッチはON(75Ω 側)にします。
- (4) REF INの信号に同期したLINE信号、FILL信号、KEY信号を各々LINE IN、FILL IN、KEY INに入力します。
- (5) LINE OUT、PREVIEW OUTをモニタ等に接続します。
- (6) 本体、パネルセレクトター、操作パネルの電源スイッチをONします。本体、パネルセレクトターのPOWERランプが点灯し、操作パネルはFADEスピードの表示器が点灯します。
このときLINE OUT側のモニタに本線映像信号が出力されていることを確認してください。
PREV OUT側のモニタには本線映像信号にスーパーがミックスされていることを確認してください。

4. 基本動作チェック

下記の操作で本体が正常に動作していることをチェックします。
正常に動作しない場合は「トラブルシューティング」(P-43)を参照してください。

- 525iフォーマットで、LINEの映像に外部からのKEYとFILLをSUPER1のTAKEでFADE INします。

- (1) 操作パネル上のPANEL LOCKが消灯していることを確認します。点灯している場合はPANEL LOCKを1秒間押し続け、消灯させてください。

・本体の選択

- (2) 仮にHOST SEL部の一番左側のボタンを1とします。
HOST SEL部の1を1秒間押し続けると、ボタンが点滅し、表示器にHOST SELの設定メニューが表示されますので、ツマミ2を回して「1」に設定し、SETを押します。
このとき1のボタンは点滅から点灯に変わりパネルセレクトターのHOST1に接続されている本体が選択されます。

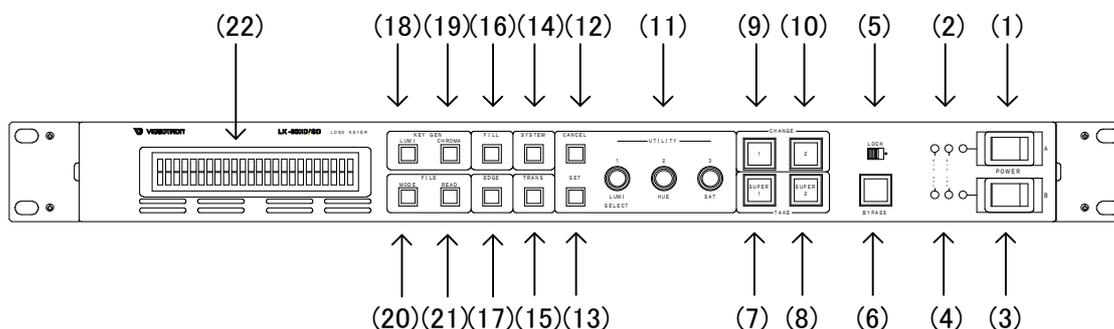
・映像フォーマットの選択

- (3) 本体正面のSYSTEMボタンを押すとシステムメニューが表示されますので、ツマミ1を回して「FORMAT」を選択し、ツマミ2を回して「525i」を設定し、SETボタンを押します。
- (4) 操作パネルのSUPER1部のINPUTを押します。
- (5) 表示器下のSUPER SEL部の1を押します。
- (6) 表示器下のFILL部のEXTを押します。
- (7) SUPER1部のFADEを押します。
- (8) SUPER1部のツマミを回してFADEスピードを設定します。
- (9) TAKEを押します。ボタンが点灯して、LINEの映像にスーパーをONします。もう一度TAKEを押すとスーパーをOFFし、ボタンが消灯します。

**文中の□で囲まれている単語は操作パネル上のボタンを表します。

3. 各部の名称と働き

1. 本体正面



・正面の蓋を引き出したとき

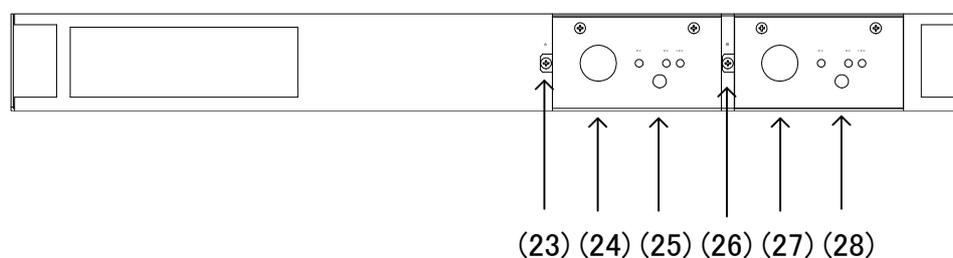


図3-1 本体正面

- (1) POWER(A電源ユニット側)
A電源ユニットのパワースイッチです。
(本機の電源システムは二重化されており、A電源ユニット、B電源ユニットで構成されています。)
- (2) A電源ユニットオペレーションランプ
A: A電源ユニットのパワーランプです。A電源動作時パワーランプが緑色点灯します。
PSY: A電源ユニットの電源アラームランプです。異常時橙色に点滅します。
FAN: A電源ユニット側のFANアラームランプです。異常時橙色に点滅します。
注意！ B電源ユニットのみで運転中は上記のアラームランプ類が点滅します。
**ご使用の際は常にA、B電源ユニットを並列運転して下さい。
- (3) POWER(B電源ユニット側)
B電源ユニットのパワースイッチです。
(本機の電源システムは二重化されており、A電源ユニット、B電源ユニットで構成されています)
- (4) B電源ユニットオペレーションランプ
B: B電源ユニットのパワーランプです。B電源動作時パワーランプが緑色点灯します。
PSY: B電源ユニットの電源アラームランプです。異常時橙色に点滅します。
FAN: B電源ユニット側のFANアラームランプです。異常時橙色に点滅します。
注意！ A電源ユニットのみで運転中は上記のアラームランプ類が点滅します。
**ご使用の際は常にA、B電源ユニットを並列運転してください。

- (5) LOCK
本体正面からのコントロールを禁止するスイッチです。右側でコントロールを禁止します。
- (6) BYPASS
LINE INの信号をLINE OUT1にバイパスするボタンです。
- (7) SUPER1
スーパー1のTAKEボタンです。
- (8) SUPER2
スーパー2のTAKEボタンです。
- (9) CHANGE1
スーパー1のCHANGEボタンです。
- (10) CHANGE2
スーパー2のCHANGEボタンです。
- (11) ツマミ 1,2,3
各項目の設定に使用します。
ツマミ 2,3はファイルリード時にファイルの読み出しに使用します。
- (12) CANCEL
ファイルモード時にファイルの書き込みをキャンセルするボタンです。
- (13) SET
メニューでの設定データを記憶してメニューを閉じます。
- (14) SYSTEM
システム設定ボタンです。点灯でシステム設定メニューに入ります。
- (15) TRANS
トランジション設定ボタンです。点灯でトランジション設定メニューに入ります。
- (16) FILL
フィル(カラー)設定ボタンです。点灯でフィル設定メニューに入ります。
- (17) EDGE
エッジパターン設定ボタンです。点灯でエッジ設定メニューに入ります。
- (18) LUMI
外部キーとセルフキーのルミナンス設定ボタンです。点灯でルミナンス設定メニューに入ります。
- (19) CHROMA
セルフキーのクロマ設定ボタンです。点灯でクロマ設定メニューに入ります。
- (20) MODE
ファイルモードの設定ボタンです。点灯でファイル設定メニューに入ります。
- (21) READ
ファイルリード時にONするボタンです。点灯でファイルリードモードに入ります。
- (22) 表示器
操作メニューを表示します。
- (23) 固定ネジ
A電源ユニットを固定するネジです。

(24) 引き出し用穴

A電源ユニットを引き出すときに使用する穴です。

(25) パワーランプ

A電源ユニットのパワーランプです。A電源動作時パワーランプが緑色点灯します。

左から順に、各基板に供給する5V、HDDに供給する5Vと12Vの動作ランプです。

(26) 固定ネジ

B電源ユニットを固定するネジです。

(27) 引き出し用穴

B電源ユニットを引き出すときに使用する穴です。

(28) パワーランプ

B電源ユニットのパワーランプです。B電源動作時パワーランプが緑色点灯します。

左から順に、各基板に供給する5V、HDDに供給する5Vと12Vの動作ランプです。

2. 本体背面

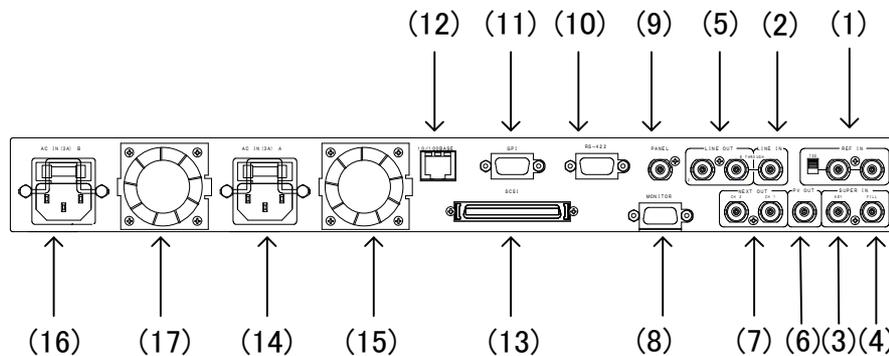


図3-2 本体背面

(1) REF IN

同期信号の入力端子です。3値SYNCまたはBBS信号を入力します。本機は同期信号が無い場合、LINE INに入力されている本線映像信号に同期(ラインロック)します。

入力信号を他の機器へブリッジしない場合は75ΩスイッチをON(上側)にします。

(2) LINE IN

本線映像信号の入力端子です。本機はREF INに同期信号が入力されていない場合、本線映像信号に同期(ラインロック)します。

(3) KEY IN

KEY信号の入力端子です。

(4) FILL IN

FILL信号の入力端子です。

(5) LINE OUT

本線映像信号の出力端子です。1番の出力のみエマージェンシースルー機能を持ち、電源遮断時またはバイパスモード時に、LINE INに入力されている本線映像信号がスルーで出力されます。

- (6) PV OUT
プレビュー信号の出力端子です。エマージェンシースルー機能はありません。
- (7) NEXT OUT
ファイルネクスト信号の出力端子です。
- (8) MONITOR
サムネール表示用のPCモニタに接続する出力端子です。
- (9) PANEL
操作パネルまたはパネルセレクターとのI/Fです。
- (10) RS-422
RS-422のI/Fです。
- (11) GPI
外部からの制御に使用します。
- (12) 10/100BASE
ネットワークでのファイル転送に使用します。
- (13) SCSI
外部MOなどを接続できる68ピンSCSI2ハーフピッチコネクタです。
- (14) 三端子電源コネクタ(A電源ユニット側)
A電源ユニット側の三端子電源コネクタです。3Aのヒューズを内蔵しています。
- (15) FAN(A電源ユニット側)
A電源ユニット側の機内冷却用のFANです。
- (16) 三端子電源コネクタ(B電源ユニット側)
B電源ユニット側の三端子電源コネクタです。3Aのヒューズを内蔵しています。
- (17) FAN(B電源ユニット側)
B電源ユニット側の機内冷却用のFANです。

3. 操作パネル正面

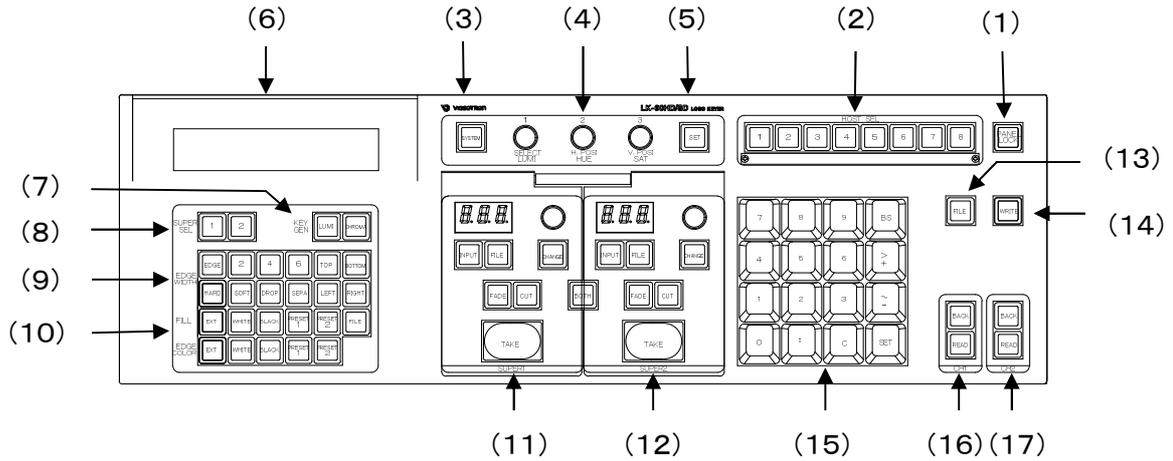


図3-3 パネル正面

(1) PANEL LOCK

操作パネルを LOCK 状態にするボタンです。

** 下記の HOST SEL ボタンは、PANEL LOCK 中でも選択できます。

(2) HOST SEL

パネルセレクターを通してコントロールする本体を選択するボタンです。

(3) SYSTEM

システム設定ボタンです。点灯でシステム設定メニューに入ります。

(4) ツマミ 1,2,3

各項目の設定に使用します。

(5) SET

メニューでの設定データを記憶してメニューを閉じます。

(6) 表示器

操作メニューを表示します。

(7) LUMI、CHROMA

LUMI: 外部キーとセルフキーのルミナンス設定ボタンです。点灯でルミナンス設定メニューに入ります。

CHROMA: セルフキーのクロマ設定ボタンです。点灯でクロマ設定メニューに入ります。

(8) SUPER SEL

編集するスーパーチャンネルの選択ボタンです。(FILL、EDGE COLOR、EDGE WIDTH)

(9) EDGE WIDTH

EDGE: エッジの ON/OFF ボタンです。点灯で ON になります。

2、**4**、**6**: エッジ幅の選択ボタンです。

DROP、**SEPA** 共に消灯で有効になります。

**例外として、個々のエッジ幅の設定時にも有効になります。

P-30「個々のエッジ幅の設定」を参照してください。

TOP、**BOTTOM**、**LEFT**、**RIGHT**: エッジを付加する方向の選択ボタンです。

HARD: エッジの傾斜の選択ボタンです。点灯でハードエッジになります。

SOFT: エッジの傾斜の選択ボタンです。点灯でソフトエッジになります。

[DROP]: 点灯でドロップエッジのモードです。

**エッジ幅は 4ドット固定です。

[SEPA]: 点灯でエッジを上下左右に個々の幅で付加するモードです。

(10) FILL、EDGE COLOR

フィル、エッジカラーの選択ボタンです。

左から順に、外部カラー、白、黒、ユーザープリセットカラー1・2、FILE カラーです。

**フィルで FILE を選択時には、エッジカラーに EXT を設定できません

(11) SUPER1

7 セグメント LED: フェードスピードを表示します。

スピードツマミ: フェードスピードを変更できます。

[INPUT]: スーパー素材を入力スーパー(KEY IN 入力)にするボタンです。

[FILE]: スーパー素材を静止画(FILE)にするボタンです。

[CHANGE]: FILE のスーパー素材をチェンジするボタンです。

[FADE]: スーパーの ON/OFF をフェードで行います。

[CUT]: スーパーの ON/OFF をカットで行います。

[TAKE]: スーパーの ON/OFF を自動で行うボタンです。点灯でスーパーONになります。

[BOTH]: 点灯でスーパー1 とスーパー2 を同時スタートでテイクできます。SUPER1 と SUPER2 のどちらの **[TAKE]** ボタンを押しても構いません。

(12) SUPER2

(11)と同様です。

(13) FILE

ファイルモードの設定ボタンです。点灯でファイル設定メニューに入ります。

(14) WRITE

ファイルライト時にONするボタンです。点灯でファイルライトモードに入ります。

(15) TENKEY

ドライブナンバー、ファイルナンバー入力等に使用します。

(16) CH1

[READ]: CH1 の NEXT 画面に昇順のファイルを読み出します。

[BACK]: CH1 の NEXT 降順のファイルを読み出します。

(17) CH2

[READ]: CH2 の NEXT 画面に昇順のファイルを読み出します。

[BACK]: CH2 の NEXT 降順のファイルを読み出します。

4. 操作パネル側面

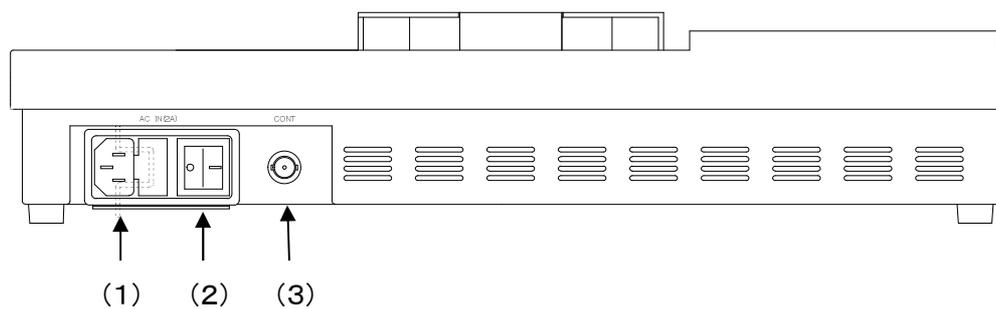


図3-4 パネル側面

(1) 三端子電源コネクタ

三端子の電源コネクタです。2A のヒューズを内蔵しています。

(2) POWER

操作パネル電源の ON/OFF スイッチです。

(3) CONT

本体またはパネルセレクターとのI/Fです。

5. パネルセレクトター正面

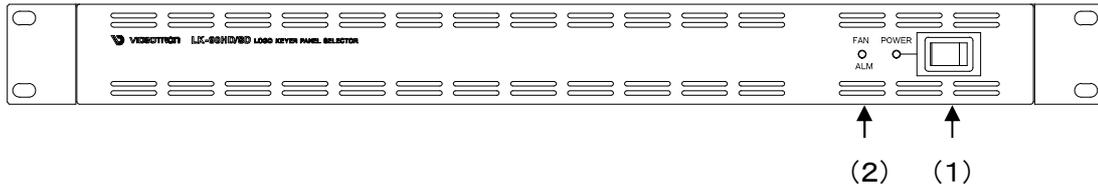


図3-5 パネルセレクトター正面

(1) POWER

パネルセレクトターのパワースイッチです。

(2) POWER、FAN ALM

POWER: パネルセレクトターのパワーランプです。電源動作時パワーランプが緑色点灯します。

FAN ALM: パネルセレクトターの FAN アラームランプです。異常時橙色に点滅します。

6. パネルセレクトター背面

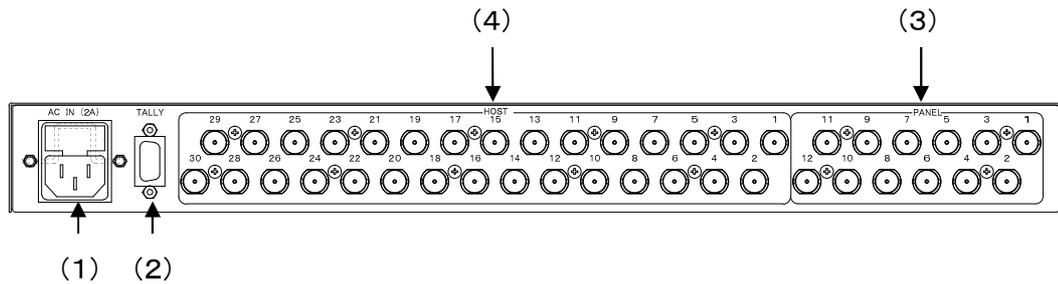


図3-6 パネルセレクトター背面

(1) 三端子電源コネクタ

三端子の電源コネクタです。2A のヒューズを内蔵しています。

(2) TALLY

TALLY 出力端子です。

(3) PANEL

操作パネルとの I/F です。

(4) HOST

本体との I/F です。

4. 操作方法(本体正面)

1. 基本操作

(1)メニューボタンを押すと、本体正面の表示器に設定メニューが表示されます。

メニューボタンは本体正面の **SYSTEM**、**TRANS**、**FILL**、**EDGE**、**LUMI**、**CHROMA**、**MODE**、**READ** を指します。

(2)ツマミ1を回してメニューボタン階層下の設定項目を選択します。

ツマミ1を回すと、メニュー表示が変わります。設定したいメニューを表示させてください。

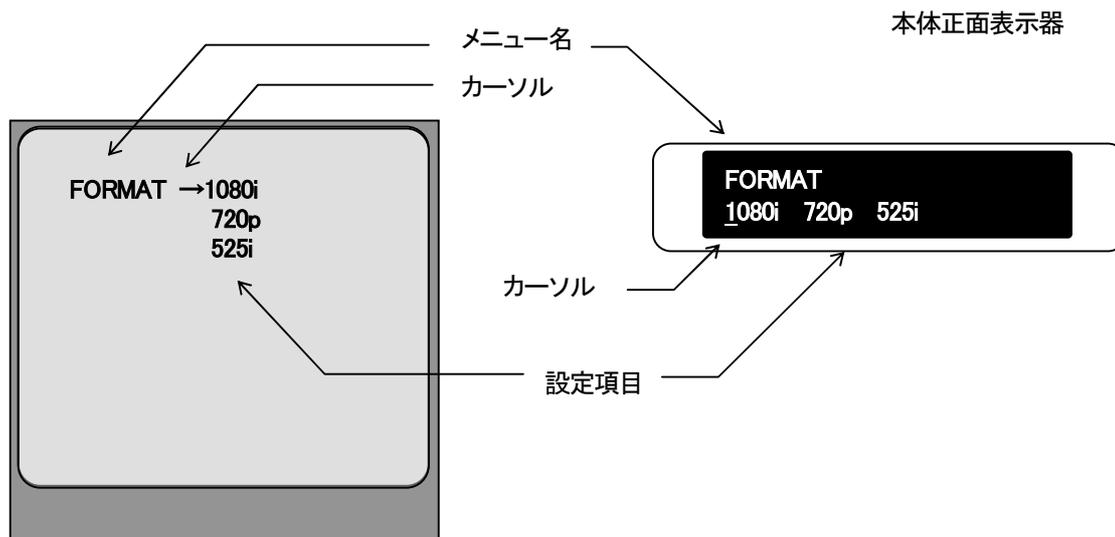


図 4-1 プレビュー出力画面

(3)ツマミ2を回して次の階層下の設定項目を選択します。

ツマミ2を回すと、カーソルが動きます。設定したい項目へカーソルを動かします。

(4)**SET**ボタンを押して、設定データをバックアップします。

SETボタンを押す前にメニューボタンを押すとキャンセルされます。

2. SYSTEMの設定

下図は、SYSTEMボタンを押した場合に表示されるメニューの一覧です。

メニュー名 (ツマミ 1)	設定項目(ツマミ 2 or 3) 本体正面表示器=プレビュー出力画面	選択した場合の設定内容
FORMAT	1080i	HDTV 1080i(59.94Hz)フォーマットで動作
	720p	HDTV 720p(59.94Hz)フォーマットで動作
	525i	SDTV 525i(59.94Hz)フォーマットで動作
SUPER1 SELECT	INPUT	スーパー1に入カスーパーを選択
	FILE	スーパー1にファイルスーパーを選択
SUPER2 SELECT	INPUT	スーパー2に入カスーパーを選択
	FILE	スーパー2にファイルスーパーを選択
KEY1 SELECT	EXT	外部からの入力キーを使用(エクスターナルキー)
	SELF	入力されたFILL信号からキーを作る(セルフキー)
	CHROMA	入力されたFILL信号からキーを作る(クロマキー)
	AUTO	エクスターナルキー/セルフキーの自動切り替え
SUPER1 POSITION	H:0 V:0	H(±30)、V(±8)2ドット、2ラインステップ
KEY2 SELECT	EXT	外部からの入力キーを使用(エクスターナルキー)
	SELF	入力されたFILL信号からキーを作る(セルフキー)
	CHROMA	入力されたFILL信号からキーを作る(クロマキー)
	AUTO	エクスターナルキー/セルフキーの自動切り替え
SUPER2 POSITION	H:0 V:0	H(±30)、V(±8)2ドット、2ラインステップ
PRIORITY	SUPER1 = SUPER1←2	優先順位をSUPER1、SUPER2の順に設定
	SUPER2 = SUPER2←1	優先順位をSUPER2、SUPER1の順に設定
SAFETY MARKER	80%	PV OUTに80%セーフティマーカーを表示
	86%	PV OUTに86%セーフティマーカーを表示
	OFF	PV OUTにセーフティマーカーを表示しない
4:3 MARKER	ON	PV OUTに4:3マーカーの表示/非表示を設定
	OFF	(HDフォーマット時のみ)
COLOR LIMIT	ON	カラーリミッターのON/OFFを設定(VARI COLOR時)
	OFF	RGBに変換された際のレベルオーバーをなくす
SYSTEM PHASE	0~1000	下記(1)参照
MENU	ON	PV OUT、NEXT OUTにメニューの表示/非表示を設定
	OFF	
ANC	THRU	補助データのスルー/ブランクを設定
	BLANK	
CLOCK	Y: M: D: H: M: S:	日時の設定 **1

** 操作パネルでの操作では、SYSTEMメニューの「FORMAT、SYSTEM PHASE、ANC」は表示されません。

**1 日時は本体の電源を落としますと不定になるため、電源投入時には必ず設定してください。

(1)SYSTEM PHASE

本機はREF信号を入力している場合、REF信号に同期して映像が出力されます。

REF信号が無い場合は自動的にラインロックに切り替わります。

調整範囲は SD:0~858、HD:0~1000(SD:1 ステップ

74nS、HD: 1ステップ13.5ns)です。

**LINE信号がREF信号より遅れている場合

出力信号はLINE、スーパー信号共に1LINE落ちます。

3. TRANSの設定

トランジションでは、テイクスイッチ、トランジションモード、フェードのスピード設定を行います。

メニュー名 (ツマミ 1)	設定項目(ツマミ 2 OR 3) 本体正面表示器=プレビュー出力画面	選択した場合の設定内容
TAKE SW	SEPA = SEPARATE	SUPER1とSUPER2を別々にTAKE
	BOTH = BOTH	SUPER1とSUPER2を同時にTAKE
SUPER1 TRANSITION	CUT	スーパー1のトランジションをCUTに設定
	FADE	スーパー1のトランジションをFADEに設定
SUPER1 SPEED	FADE:30	スーパー1のFADEスピードを設定
SUPER2 TRANSITION	CUT	スーパー2のトランジションをCUTに設定
	FADE	スーパー2のトランジションをFADEに設定
SUPER2 SPEED	FADE:30	スーパー2のFADEスピードを設定

**一部モードにより表示されないメニューがあります。

4. FILLの設定

スーパーカラーの設定を行います。

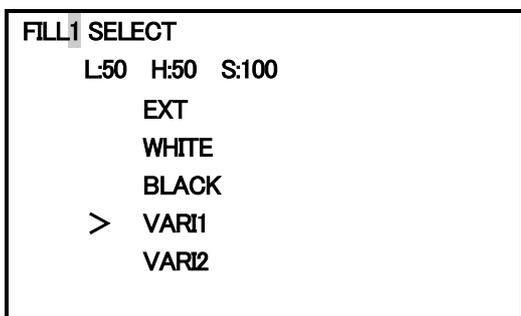
メニュー名 (ツマミ 1)	設定項目(ツマミ 2 or 3) 本体正面表示器=プレビュー出力画面	選択した場合の設定内容
FILL1 SELECT	EX = EXT	スーパー1の外部色信号を使用(EXT COLOR)
	WH = WHITE	スーパー1の色を白に設定
	BL = BLACK	スーパー1の色を黒に設定
	VR1 = VARI1	スーパー1の色を任意の色に設定
	VR2 = VARI2	スーパー1の色を任意の色に設定
	FILE = FILE	スーパー1の色をFILEに設定
FILL2 SELECT	EX = EXT	スーパー2の外部色信号を使用(EXT COLOR)
	WH = WHITE	スーパー2の色を白に設定
	BL = BLACK	スーパー2の色を黒に設定
	VR1 = VARI1	スーパー2の色を任意の色に設定(VARI COLOR)
	VR2 = VARI2	スーパー2の色を任意の色に設定(VARI COLOR)
	FILE = FILE	スーパー2の色をFILEに設定

(1)VARI COLORの設定方法

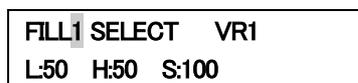
FILL2 は 1 を 2 に読み替えてください。

- 1) **FILL** ボタンを押してカラー設定メニューに入ります。
- 2) ツマミ 1 を回して FILL1 SELECT を表示します。
- 3) ツマミ 2 を回して VARI1 あるいは VARI2 を選択します。
- 4) **SET** ボタンを押して VARI COLOR 設定メニューに入ります。
- 5) ツマミ 1(LUMI)、ツマミ 2(HUE)、ツマミ 3(SAT)を回して希望の色に設定します。
- 6) **SET** ボタンを押すと設定データがバックアップされ FILL1 SELECT メニューに戻ります。
- 7) 設定を継続する時は他のメニューボタンを押すか、ツマミ 1 を回してください。

(プレビュー出力画面)



(本体正面表示器)



5. EDGEの設定

エッジでは、モード、傾斜、エッジ幅、ドロップの方向、エッジカラーの設定を行います。

下の表で、EDGE2 は 1 を 2 に読み替えてください。

注意！ EDGE を OFF に設定した場合、EDGE1、EDGE2 以外のメニューは表示されません。

メニュー名 (ツマミ 1)	設定項目(ツマミ 2 or 3) 本体正面表示器=プレビュー出力画面	選択した場合の設定内容
EDGE1	OFF = OFF	スーパー1にエッジを設定しない
	NOR = NORMAL	スーパー1にノーマルエッジを設定
	DROP = DROP	スーパー1にドロップエッジを設定
EDGE1 SLANT	SOFT	スーパー1のエッジをソフトエッジにする
	HARD	スーパー1のエッジをハードエッジにする
EDGE1 WIDTH	2	スーパー1のエッジ幅を2ドットに設定
	4	スーパー1のエッジ幅を4ドットに設定
	6	スーパー1のエッジ幅を6ドットに設定
	SEPA = SEPARATE	スーパー1のエッジ幅を上下左右で違う幅に設定する
EDGE1 TOP WIDTH (EDGE SEPAが設定されているときのみ表示)	0	スーパー1の上側のエッジ幅を0にする
	2	スーパー1の上側のエッジ幅を2にする
	4	スーパー1の上側のエッジ幅を4にする
	6	スーパー1の上側のエッジ幅を6にする
EDGE1 BOTTOM WIDTH (EDGE SEPAが設定されているときのみ表示)	0	スーパー1の下側のエッジ幅を0にする
	2	スーパー1の下側のエッジ幅を2にする
	4	スーパー1の下側のエッジ幅を4にする
	6	スーパー1の下側のエッジ幅を6にする
EDGE1 LEFT WIDTH (EDGE SEPAが設定されているときのみ表示)	0	スーパー1の左側のエッジ幅を0にする
	2	スーパー1の左側のエッジ幅を2にする
	4	スーパー1の左側のエッジ幅を4にする
	6	スーパー1の左側のエッジ幅を6にする
EDGE1 RIGHT WIDTH (EDGE SEPAが設定されているときのみ表示)	0	スーパー1の右側のエッジ幅を0にする
	2	スーパー1の右側のエッジ幅を2にする
	4	スーパー1の右側のエッジ幅を4にする
	6	スーパー1の右側のエッジ幅を6にする
EDGE1 DIRECTION (ドロップエッジが設定されているときのみ表示)	T_L = TOP LEFT	スーパー1のドロップエッジの方向を左上に設定
	T_R = TOP RIGHT	スーパー1のドロップエッジの方向を右上に設定
	B_L = BOTTOM LEFT	スーパー1のドロップエッジの方向を左下に設定
	B_R = BOTTOM RIGHT	スーパー1のドロップエッジの方向を右下に設定
EDGE1 COLOR	EXT	スーパー1の外部FILL信号をエッジ色に使用
	WH = WHITE	スーパー1のエッジ色を白に設定
	BL = BLACK	スーパー1のエッジ色を黒に設定
	VR1 = VARI1	スーパー1のエッジ色を任意の色に設定
	VR2 = VARI2	スーパー1のエッジ色を任意の色に設定

**一部モードにより表示されないメニューがあります。

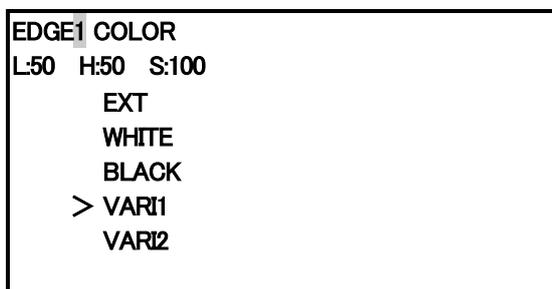
スーパーフィルでFILEを選択時には、EDGE COLORにEXTを設定できません。

(1)VARI COLORの設定方法

EDGE2は1 を2 に読み替えてください。

- 1) [EDGE]ボタンを押してエッジ設定メニューに入ります。
- 2) ツマミ1を回してEDGE1 COLORを表示します。
- 3) ツマミ2を回してVARI1あるいはVARI2を選択します。
- 4) [SET]ボタンを押してVARI COLOR 設定メニューに入ります。
- 5) ツマミ1(LUMI)、ツマミ2(HUE)、ツマミ3(SAT) を回して希望の色に設定します。
- 6) [SET]ボタンを押すと設定データがバックアップされEDGE1 COLORメニューに戻ります。
- 7) 設定を継続する時は他のメニューボタンを押すか、ツマミ1を回してください。

(プレビュー出力画面)



(本体正面表示器)



6. キーのクリップ設定

キーのクリップでは、ルミナンスのクリップ、クロマのクリップの設定を行います。

外部キーの場合・・・ LUMIクリップでHIGHクリップとLOWクリップの調整を行います。

セルフキーの場合・・・キー信号となる輝度信号(Y信号)とクロマ信号(R-YとB-Yの合成)のHIGHクリップとLOWクリップを調整できます。

クロマキーの場合・・・クロマ信号(R-YとB-Yの合成)のHIGHクリップとLOWクリップを調整することができます。

() :本体正面表示器



**一部モードにより表示されないメニューがあります。

(1) SUPER1 LUMI CLIP

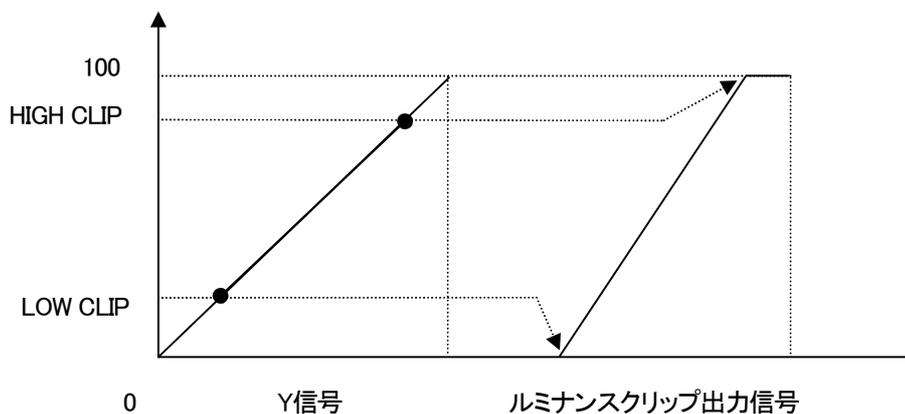
SUPER2 LUMI CLIPは1を2に読み替えてください。

- 1) **LUMI**ボタンを押してクリップ設定メニューに入ります。
- 2) ツマミ1を回してSUPER1 LUMI CLIPを表示します。
- 3) ツマミ2を回してハイクリップ、ツマミ3を回してロークリップを設定します。
(各 0~100、H:100 L:0で入力信号がそのまま出力されます)
- 4) **SET**ボタンを押して、設定データをバックアップします。
SETボタンを押す前にメニューボタンを押すとキャンセルされます。
**KEY SELECTでクロマキー選択時は無効になります。

(プレビュー出力画面)



(本体正面表示器)



ルミナンスクリップ出力信号はロークリップ点を0、ハイクリップ点を100として出力されます。

(2) SUPER1 CHROMA CLIP

SUPER1 CHROMA CLIPはKEY SELECTでセルフキーかクロマキー選択時のみ有効です。

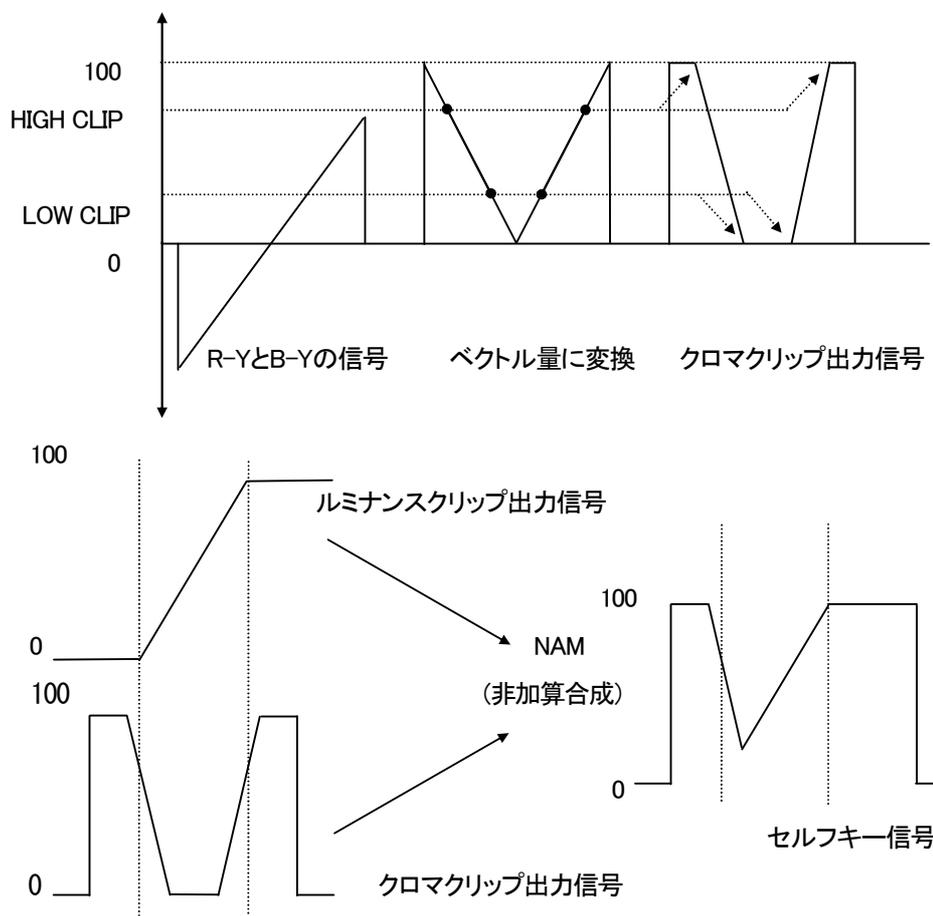
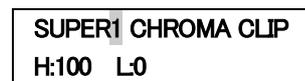
SUPER2 CHROMA CLIPは1 を2 に読み替えてください。

- 1) CHROMAボタンを押してクリップ設定メニューに入ります。
- 2) ツマミ1を回してSUPER1 CHROMA CLIPを表示します。
- 3) ツマミ2を回してハイクリップ、ツマミ3を回してロークリップを設定します。
(各 0~100、H:100 L:0で入力信号がそのまま出力されます)
- 4) SETボタンを押して、設定データをバックアップします。
SETボタンを押す前にメニューボタンを押すとキャンセルされます。

(プレビュー出力画面)



(本体正面表示器)



**クロマクリップ出力信号

R-YとB-Yの信号をベクトル量に変換し、ルミナンスクリップ出力信号と同様にHIGHクリップとLOWクリップを調整します。

**セルフキー信号

ルミナンスクリップ出力信号とクロマクリップ出力信号をNAM(非加算合成)します。

7. ベースカラーの設定

ベースカラーの設定では、クロマキーをつくるためのバックベースのカラーを設定します。

KEY SELECTでクロマキー選択時に有効になります。

(本体正面表示器)

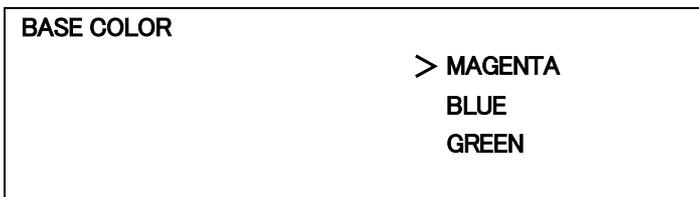


**一部モードにより表示されないメニューがあります。

(1) BASE COLOR

- 1) **CHROMA** ボタンを押してクロマ設定メニューに入ります。
- 2) ツマミ1を回してBASE COLORを選択します。
- 3) ツマミ2を回してベースカラーを選択します。
- 4) **SET** ボタンを押して、設定データをバックアップします。
SET ボタンを押す前にメニューボタンを押すとキャンセルされます。

(プレビュー出力画面)



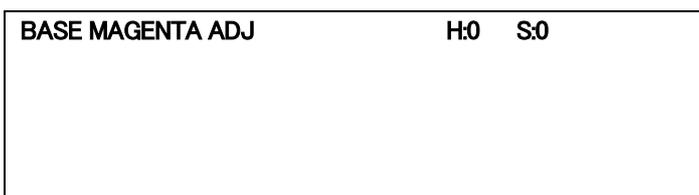
(本体正面表示器)



(2) BASE COLORの微調整(例:MAGENTA)

- 1) **CHROMA** ボタンを押してクロマ設定メニューに入ります。
- 2) ツマミ1を回してBASE MAGENTA ADJを選択します。
- 3) ツマミ2(HUE)、ツマミ3(SAT)を回してカラーを微調整します。
 (H:-20~20、S:-10~10)
- 4) **SET** ボタンを押して、設定データをバックアップします。
SET ボタンを押す前にメニューボタンを押すとキャンセルされます。

(プレビュー出力画面)



(本体正面表示器)



8. FILE MODE

(1) READ

- 1) 本体正面のFILE部の`READ`ボタンを押します。
 - 2) ツマミ2を回すと、NEXT OUTのCH1のFILEを変更できます。**1
 - 3) ツマミ3を回すと、NEXT OUTのCH2のFILEを変更できます。**1
 - 4) SUPER1の入力選択とフィル選択がFILEの時に、CHANGE部の`CHANGE1`ボタンを押し、TAKE部の`SUPER1`ボタンをONすると、2)のFILEをLINE出力にスーパーします。
 - 5) SUPER2の入力選択とフィル選択がFILEの時に、CHANGE部の`CHANGE2`ボタンを押し、TAKE部の`SUPER2`ボタンをONすると、3)のFILEをLINE出力にスーパーします。
- **1 ドライブナンバーの変更はP-25「(8) READ DRIVE CH1」で行います。
このときのFILEには、KEYとFILLが書き込まれているものと仮定しています。

(2) WRITE

`MODE`ボタンを押し、ツマミ1で「WRITE」を選択した場合に表示されるメニューです。

注意！ SUPERイメージのファイルへの書き込みは必ずSUPER2側で設定してから行ってください。

SUPER1側での設定はファイルへ書き込まれません。

メニュー名 (ツマミ1)	設定項目例(ツマミ2) 本体正面表示器=プレビュー出力画面	設定値(ツマミ3)	設定内容
WRITE	DR:1 = DRIVE 1	1,2	ドライブナンバー
	TY:FK = TYPE FK	FK,FILL,KEY	ファイルのタイプ
	FL:1 = FILE 1	1~9999	ファイルナンバー

**読み出し時、書き込み時の本体内蔵ドライブの指定はドライブ「1」になります。

・SUPERイメージをファイルに書き込みます。

- 1) `MODE`ボタンを押し、ツマミ1でWRITEを選択します。
- 2) ツマミ2で書き込む項目(ドライブナンバー、ファイルのタイプ、ファイルナンバー)を選択し、ツマミ3で各項目の設定を行います。
- 3) `SET`ボタンを押すと「WRITE SURE?」のメッセージが表示されます。
`CANCEL`ボタンを押すと書き込みがキャンセルされ、`SET`ボタンを押すと書き込みが実行されます。書き込み中は「WRITING」のメッセージが表示されます。
- 4) 既に同じファイルナンバーが存在した場合は「OVER WRITE SURE?」のメッセージが表示されます。
`CANCEL`ボタンを押すと書き込みがキャンセルされ、`SET`ボタンを押すと書き込みが実行されます。書き込み中は「WRITING」のメッセージが表示されます。
- 5) 書き込みが正常に終了すると「WRITE END」のメッセージが表示され、ファイルナンバーが「+1」されます。
** TYPE…FK: フィルとキー、FILL: フィルのみ、KEY: キーのみ

(3)COPY

MODEボタンを押し、ツマミ1で「COPY SOURCE、COPY DESTINATION」を選択した場合に表示されるメニューです。

メニュー名 (ツマミ1)	設定項目例(ツマミ2) 本体正面表示器＝ プレビュー出力画面	設定値(ツマミ3)	設定内容
COPY SOURCE	SDR:1 = SOURCE DRIVE 1	1,2	コピー元のドライブナンバー
	SF:1 = START FILE 1	1～9999	コピー元の始点のファイルナンバー
	EF:8 = END FILE 8	1～9999	コピー元の終点のファイルナンバー
COPY DESTINATION	DDR:1 = DESTINATION DRIVE 1	1,2	コピー先のドライブナンバー
	FF:1 = FILE 1	1～9999	コピー先のファイルナンバー

・ファイルをコピーします。

- 1) MODEボタンを押し、ツマミ1でCOPY SOURCEを選択します。
- 2) ツマミ2でコピー元の項目(ドライブナンバー、始点のファイルナンバー、終点のファイルナンバー)を選択し、ツマミ3で各項目の設定を行います。
- 3) SETボタンを押すとコピー先の設定項目(COPY DESTINATION)が表示されます。
- 4) ツマミ2でコピー先の項目(ドライブナンバー、ファイルナンバー)を選択し、ツマミ3で各項目の設定を行います。
- 5) SETボタンを押すと「COPY SURE?」のメッセージが表示されます。
CANCELボタンを押すとコピーがキャンセルされ、SETボタンを押すとコピーが実行されます。コピー中は「COPYING」のメッセージが表示されます。
- 6) 既に同じファイルナンバーが存在した場合は「OVER COPY SURE?」のメッセージが表示されます。
CANCELボタンを押すとコピーがキャンセルされ、SETボタンを押すとコピーが実行されます。書き込み中は「COPYING」のメッセージが表示されます。
- 7) コピーが正常に終了すると「COPY END」のメッセージが表示されます。

(4)DELETE

MODEボタンを押し、ツマミ1で「DELETE」を選択した場合に表示されるメニューです。

メニュー名 (ツマミ1)	設定項目例(ツマミ2) 本体正面表示器＝ プレビュー出力画面	設定値(ツマミ3)	設定内容
DELETE	DR:1 = DRIVE 1	1,2	ドライブナンバー
	SF:1 = START FILE 1	1～9999	始点のファイルナンバー
	EF:8 = END FILE 8	1～9999	終点のファイルナンバー

・ファイルを削除します。

- 1) MODEボタンを押し、ツマミ1でDELETEを選択します。
- 2) ツマミ2で削除する項目(ドライブナンバー、始点のファイルナンバー、終点のファイルナンバー)を選択し、ツマミ3で各項目の設定を行います。
- 3) SETボタンを押すと「DELETE SURE?」のメッセージが表示されます。
CANCELボタンを押すと削除がキャンセルされ、SETボタンを押すと削除が実行されます。削除中は「DELETING」のメッセージが表示されます。
- 4) 削除が正常に終了すると「DELETE END」のメッセージが表示されます。

(5) FORMAT

MODEボタンを押し、ツマミ1で「FORMAT」を選択した場合に表示されるメニューです。

メニュー名 (ツマミ1)	設定項目例(ツマミ2) 本体正面表示器＝ プレビュー出力画面	設定値	設定内容
FORMAT	DR:1 = DRIVE 1	1,2	ドライブナンバー

・ドライブをフォーマットします。

フォーマットを実行するとドライブの内容はすべて失われますので、重要なファイルはCOPYモード等でバックアップしておいてください。

- 1) **MODE**ボタンを押し、ツマミ1でFORMATを選択します。
- 2) ツマミ2でフォーマットするドライブナンバーを設定し、**SET**ボタンを押すと「FORMAT SURE?」のメッセージが表示されます。
CANCELボタンを押すとフォーマットがキャンセルされ、**SET**ボタンを押すとフォーマットが実行されます。フォーマット中は「FOMATTING」のメッセージが表示されます。
- 3) フォーマットが正常に終了すると「FORMAT END」のメッセージが表示されます。

(6) WRITE PROTECT

MODEボタンを押し、ツマミ1で「WRITE PROTECT」を選択した場合に表示されるメニューです。

メニュー名 (ツマミ1)	設定項目例(ツマミ2)	設定値	設定内容
WRITE PROTECT	ON OFF	ON,OFF	ライトプロテクトのON/OFF

・ファイルの書き込み、コピー、削除、ドライブのフォーマットの禁止を設定します。

- 1) **MODE**ボタンを押し、ツマミ1でWRITE PROTECTを選択します。
ツマミ2でON/OFFを設定して、**SET**ボタンを押します。

(7) ATTRIBUTE

MODEボタンを押し、ツマミ1で「ATTRIBUTE」を選択した場合に表示されるメニューです。

メニュー名 (ツマミ1)	設定項目例(ツマミ2)	設定値	設定内容
ATTRIBUTE	ON OFF	ON,OFF	アトリビュートのON/OFF

・ファイルを読み込む際にATTRIBUTEをONしておく、属性データを設定することができます。

属性データ：SUPER POSITION、LEVEL、EDGE WIDTH

- 1) **MODE**ボタンを押し、ツマミ1でATTRIBUTEを選択します。
- 2) ツマミ2でON/OFFを設定して、**SET**ボタンを押します。

(8) READ DRIVE CH1

MODEボタンを押し、ツマミ1で「READ DRIVE CH1」を選択した場合に表示されるメニューです。

メニュー名 (ツマミ1)	設定項目例(ツマミ2) 本体正面表示器＝ プレビュー出力画面	設定値	設定内容
READ DRIVE CH1	DR:1 = DRIVE 1	1,2	ドライブナンバー

・チャンネル1に読み込むファイルのドライブナンバーを設定します。

チャンネル2は、1を2に読み替えてください。

- 1) MODEボタンを押し、ツマミ1でREAD DRIVE CH1を選択します。
ツマミ2でドライブナンバーを設定して、SETボタンを押します。

(9) THUMBNAIL

MODEボタンを押し、ツマミ1で「THUMBNAIL」を選択した場合に表示されるメニューです。

メニュー名 (ツマミ1)	設定項目例(ツマミ2) 本体正面表示器＝ プレビュー出力画面	設定値(ツマミ3)	設定内容
THUMBNAIL	DR:1 = DRIVE 1	1,2	ドライブナンバー
	TY:FILL = TYPE FILL	FILL,KEY	表示するファイルのタイプ
	FL:1 = FILE 1	1～9999	ファイルナンバー

・サムネール表示をするドライブナンバー、ファイルのタイプ、ファイルナンバーを設定します。

- 1) MODEボタンを押し、ツマミ1でTHUMBNAILを選択します。
- 2) ツマミ2で表示する項目(ドライブナンバー、ファイルのタイプ、ファイルナンバー)を選択し、ツマミ3で各項目の設定を行い、SETボタンを押します。
** TYPE…FILL: フィルのみ、KEY: キーのみ

(10) NEXT OUT MIX

MODEボタンを押し、ツマミ1で「NEXT OUT MIX」を選択した場合に表示されるメニューです。

メニュー名 (ツマミ1)	設定項目例(ツマミ2) 本体正面表示器＝ プレビュー出力画面	設定値	設定内容
NEXT OUT MIX	ON OFF	ON,OFF	CH1とCH2をミックス表示

・黒バックの映像にCH1とCH2がプライオリティーミックスされて、NEXT OUT CH1とCH2に同じ映像が出力されます。プライオリティーは、P-11の「SYSTEMの設定のPRIORITY」の設定と連動します。

**プライオリティーミックスは、同じファイル内にKEYとFILLが書き込まれていることが前提となります。

- 1) MODEボタンを押し、ツマミ1でNEXT OUT MIXを選択します。
ツマミ2でON/OFFを設定して、SETボタンを押します。

(11) NEXT OUT CH1

MODEボタンを押し、ツマミ1で「NEXT OUT CH1」を選択した場合に表示されるメニューです。

上記の「NEXT OUT MIX」の設定がOFFのときに有効です。

メニュー名 (ツマミ1)	設定項目例(ツマミ2) 本体正面表示器=プレビュー出力画面	設定値	設定内容
NEXT OUT CH1	TY:MIX = TYPE MIX	MIX,FILL,KEY	表示するファイルのタイプ

・NEXT OUTのチャンネル1に出力する映像型式を設定します。

チャンネル2は、1 を2 に読み替えてください。

- 1) MODEボタンを押し、ツマミ1でNEXT OUT CH1を選択します。
- 2) ツマミ2で表示する映像型式を設定して、SETボタンを押します。

** TYPE…MIX: 黒バックでフィルをキーで抜いた映像、

FILL: フィルのみ、KEY: キーのみ

(12) IP ADDRESS

MODEボタンを押し、ツマミ1で「IP ADDRESS」を選択した場合に表示されるメニューです。

メニュー名 (ツマミ1)	設定項目例(ツマミ2)	設定値(ツマミ3)	設定内容
IP ADDRESS	XXX XXX XXX XXX	0~999	IP アドレス

・ネットワーク管理者から割り当てられたIPアドレスを設定します。

- 1) MODEボタンを押し、ツマミ1でIP ADDRESSを選択します。
- 2) ツマミ2でアドレス項を選択し、ツマミ3でアドレスを設定して、SETボタンを押します。

(13) SUBNET MASK

MODEボタンを押し、ツマミ1で「SUBNET MASK」を選択した場合に表示されるメニューです。

メニュー名 (ツマミ1)	設定項目例(ツマミ2)	設定値(ツマミ3)	設定内容
SUBNET MASK	XXX XXX XXX XXX	0~999	サブネットマスク

・ネットワーク管理者から割り当てられたサブネットマスクを設定します。

- 1) MODEボタンを押し、ツマミ1でSUBNET MASKを選択します。
- 2) ツマミ2でアドレス項を選択し、ツマミ3でアドレスを設定して、SETボタンを押します。

(14) DEFAULT GATEWAY

MODEボタンを押し、ツマミ1で「DEFAULT GATEWAY」を選択した場合に表示されるメニューです。

メニュー名 (ツマミ1)	設定項目例(ツマミ2)	設定値(ツマミ3)	設定内容
DEFAULT GATEWAY	XXX XXX XXX XXX	0~999	デフォルトゲートウェイ

・デフォルトゲートウェイのアドレスを設定します。

1) **MODE**ボタンを押し、ツマミ1でDEFAULT GATEWAYを選択します。

2) ツマミ2でアドレス項を選択し、ツマミ3でアドレスを設定して、**SET**ボタンを押します。

5. 操作方法(操作パネル)

1. 基本操作

●525iフォーマットで、LINEの映像に外部からのKEYとFILLをSUPER1の[TAKE]でFADE INします。

**システムはP-3「図2-1 接続例」と同様です。

(1)操作パネル上の[PANEL LOCK]が消灯していることを確認します。点灯している場合は[PANEL LOCK]を1秒間押し続け、消灯させてください。

・本体の選択

(2)仮にHOST SEL部の一番左側のボタンを[1]とします。

HOST SEL部の[1]を1秒間押し続けると、ボタンが点滅し、表示器にHOST SELの設定メニューが表示されますので、ツマミ2を回して「1」に設定し、[SET]を押します。このとき[1]のボタンは点滅から点灯に変わりパネルセクターのHOST1に接続されている本体が選択されます。

・映像フォーマットの選択

(3)本体正面のSYSTEMボタンを押すとシステムメニューが表示されますので、ツマミ1を回して「FORMAT」を選択し、ツマミ2を回して「525i」を設定し、SETボタンを押します。

(4)操作パネルのSUPER1部の[INPUT]を押します。

(5)表示器下のSUPER SEL部の[1]を押します。

(6)表示器下のFILL部の[EXT]を押します。

(7)SUPER1部の[FADE]を押します。

(8)SUPER1部のツマミを回してFADEスピードを設定します。

(9)[TAKE]を押します。ボタンが点灯して、LINEの映像にスーパーをONします。もう一度[TAKE]を押すとスーパーをOFFし、ボタンが消灯します。

**文中の□で囲まれている単語は操作パネル上のボタンを表します。

2. SYSTEM の設定

[SYSTEM]ボタンを押すと、表示器にP-14の「[SYSTEM]の設定」の一覧と同様のメニューが表示され、システムの設定が行えます。詳細はP-14の「[SYSTEM]の設定」を参照してください。

3. キーのクリップ設定

KEY GEN部の[LUMI]または[CHROMA]ボタンを押すと、キーのクリップ設定とクロマキーをつくるためのバックベースのカラーの設定が行えます。詳細はP-18の「キーのクリップ設定」、P-21の「ベースカラーの設定」を参照してください。

4. パネルロック

操作パネルがLOCK状態になります。

[LOCK]スイッチを1秒間押し続けます。解除する場合も同様です。

**HOST SELボタンは、PANEL LOCK中でも選択できます。

5. 編集する本体の割り当て

編集を行う本体をHOST SEL部のボタンに割り当てます。

・HOST SEL部の任意のボタンを1秒間押し続けると、そのボタンが点滅し、表示器にHOST SELの設定メニューが表示されますので、つまみ2を回してパネルセクターのHOST端子に接続されている番号を設定し、[SET]を押します。このときボタンは点滅から点灯に変わりHOST端子に接続されている本体が割り当てられます。

6. 編集する本体の選択

編集を行う本体を選択します。

・HOST SEL部の任意のボタンを押すと、予め割り当てられている本体が選択されます。

7. スーパーチャンネルの選択(FILL、EDGE COLOR、EDGE WIDTH)

編集を行うスーパーチャンネルを選択します。

・SUPER SEL部の[1]、[2]のいずれかのボタンを押します。

8. フィルの設定

フィルを、外部カラー、白、黒、ユーザープリセットカラー2色、FILEカラーから選択します。

1) フィルの選択

・FILL部の[EXT]、[WHITE]、[BLACK]、[PRESET1]、[PRESET2]、[FILE]のいずれかのボタンを押します。

2) ユーザープリセットカラーの設定

(1) [PRESET1]または[PRESET2]ボタンを1秒間押し続けます。

(2) ボタンが点滅を始め、PRESET COLOR設定メニューが表示されます。

(ボタンが点滅を始めたら離します)

(3) つまみ1(LUMI)、つまみ2(HUE)、つまみ3(SAT) を回して希望の色に設定します。

(4) [SET]ボタンを押して、設定データをバックアップします。

[SET]ボタンを押す前に点滅している[PRESET]ボタンを押すとキャンセルされます。

9. エッジカラーの設定

エッジカラーを、外部カラー、白、黒、ユーザープリセットカラー2色から選択します。

1) エッジカラーの選択

・EDGE COLOR部の[EXT]、[WHITE]、[BLACK]、[PRESET1]、[PRESET2]のいずれかのボタンを押します。

**スーパーフィルでFILEを選択時には、EDGE COLORにEXTを設定できません。

2) ユーザープリセットカラーの設定

・前項の「ユーザープリセットカラーの設定」を参照してください。

10. エッジの設定

エッジのON/OFF、モード、幅、ドロップ、傾斜の設定を行います。

1) エッジのON/OFF

・[EDGE]ボタンを押します。点灯でエッジON、消灯でエッジOFFになります。

2) モード

・ノーマル、ドロップ、セパレートモードがあります。

(1) ノーマルモード

[DROP]ボタンOFF(消灯)、[SEPA]ボタンOFF(消灯)でエッジを四方(上下左右)に均等に付加するモードです。

[2]、[4]、[6]のいずれかのボタンを押してエッジ幅を選択します。

[TOP]、[BOTTOM]、[LEFT]、[RIGHT]のボタンを押す組み合わせで付加する方向を選択します。

(2) ドロップモード

[DROP]ボタンON(点灯)でドロップエッジのモードです。

[TOP]、[BOTTOM]、[LEFT]、[RIGHT]のいずれかのボタンを押して付加する方向を選択します。

**エッジ幅は4ドット固定です。

(3) セパレートモード

[SEPA]ボタンON(点灯)でエッジを上下左右に個々の幅で付加するモードです。

[TOP]、[BOTTOM]、[LEFT]、[RIGHT]のボタンを押す組み合わせで付加する方向を選択します。

**エッジ幅は次項の「3) 個々のエッジ幅の設定」で登録された幅になります。

3) 個々のエッジ幅の設定

・[SEPA]ボタンがON(点灯)時にエッジ幅を上下左右に個々に設定できます。

例: 左側のエッジ幅の設定。

(1) [LEFT]ボタンを約1秒間押し続けます。

(2) ボタンが点滅を始め、LEFT WIDTH設定メニューが表示されます。

ボタンが点滅を始めたら離します。

(3) ツマミ2を回して幅を設定します。

または[2]、[4]、[6]ボタンを押して幅を設定します。

(4) **SET** ボタンを押して、設定データをバックアップします。

SET ボタンを押す前に点滅している **LEFT** ボタンを押すとキャンセルされます。

同様に **RIGHT**、**TOP**、**BOTTOM** も設定できます。

4) エッジの傾斜

・ハードエッジとソフトエッジがあります。

HARD または **SOFT** ボタンを押します。

11. スーパー素材の選択

入力スーパーかファイルかを選択します。

・**INPUT** または **FILE** ボタンを押します。

12. ファイルチェンジ

予めNEXT OUTに読み込んだファイルをスーパーにする。

・**CHANGE** ボタンを押します。

13. フェード、カットの選択

スーパーの ON/OFF をフェードで行うか、カットで行うかを選択します。

・**FADE**、**CUT** のどちらかのボタンを押します。

14. フェードスピードの設定

スーパーの ON/OFF のスピード設定を行います。

・7セグメントLEDの右横のツマミを回し設定します。

15. TAKE ボタン

フェード、カットの各モードに従って、自動でスーパーをON/OFFします。

・**TAKE** ボタンを押します。点灯でスーパーONIになります。

16. BOTH ボタン

スーパー1とスーパー2を同時スタートでテイクできます。

・**BOTH** ボタンを1秒間押し続けます。解除する場合も同様です。

点灯でスーパー1とスーパー2を同時スタートでテイクできます。

SUPER1とSUPER2のどちらの **TAKE** ボタンを押しても構いません。

17. WRITE ボタン

WRITE ボタンをONすると、次のような機能があります。

(A) ツマミ1～3とSET ボタンでファイルの書き込み、コピー、削除、環境設定等を行う機能。

(B) 主にテンキーでファイルの書き込み、コピー、削除等を行う機能。

(A)の機能については、本体正面のMODE ボタンと同様の機能です。詳細はP-22の「(2)WRITE」～P-27の「(14) DEFAULT GATEWAY)を参照してください。

**参照文においてMODE ボタンをWRITE ボタンに、CANCEL ボタンをテンキーのC ボタンに読み替えてください。また、SET ボタンはテンキー部のSET ボタンでも同様の働きがあります。

18. サムネールの表示

MONITOR出力にサムネールを表示します。

(1) WRITE ボタンを押し、ツマミ1でTHUMBNAILを選択します。

(2) 読み込むファイルのタイプを変更する場合はツマミ2と3で、ファイルのタイプを設定します。

** TYPE…FILL: フィルのみ、KEY: キーのみ

(3) テンキーでファイルナンバーを指定してSET ボタンを押しします。

入力例) 1:1 SET

** コロン(:)の前の「1」がドライブナンバー、後の「1」がファイルナンバーです。

ドライブナンバーの変更がない場合は「1:」は省略できます。

19. ファイルの読み出し

NEXT OUTにファイルを読み出しデータを確認します。

(1) FILE ボタンを押しします。

(2) エッジ等のアトリビュートデータも読み出す場合は、ATTRIBUTEの設定をONIにします。

ATTRIBUTEの設定の詳細は、P-24「ATTRIBUTE」を参照してください。

**参照文においてMODE ボタンをWRITE ボタンに読み替えてください。また、SET ボタンはテンキー部のSET ボタンでも同様の働きがあります。

(3) テンキーでファイルナンバーを指定してCH1側のREAD ボタンを押しします。

** SUPER2にファイルを入力するにはCH2側のREAD ボタンを押しします。

入力例) 1:1 READ

** コロン(:)の前の「1」がドライブナンバー、後の「1」がファイルナンバーです。

ドライブナンバーの変更がない場合は「1:」は省略できます。

20. 読み込んだファイルをスーパーする

前項の「ファイルの読み出し」でNEXT OUTに出力したファイルをスーパーします。

- (1) 前項の「ファイルの読み出し」の手順でNEXT OUTにスーパーデータを読み出します。
- (2) SUPER1部のCHANGEボタンを押します。
自動的にNEXT OUT CH1には次のファイルナンバーのデータが読み出されます。
** SUPER2にファイルを入力するにはSUPER2部のCHANGEボタンを押します。
自動的にNEXT OUT CH2には次のファイルナンバーのデータが読み出されます。
- (3) SUPER1部のFILEボタンを押します。
FILLデータを使用する場合は、FILL部のFILEボタンをONにします。
- (4) SUPER1部のTAKEボタンONするとLINE出力にファイルをスーパーします。

21. ファイルの書き込み

SUPERイメージをファイルに書き込みます。

注意！ SUPERイメージのファイルへの書き込みは必ずSUPER2側で設定してから行ってください。

SUPER1側での設定はファイルへ書き込まれません。

- (1) WRITEボタン押し、ツマミ1でWRITEを選択します。
- (2) 書き込むファイルのタイプを変更する場合はツマミ2と3で、ファイルのタイプを設定します。
** TYPE…FK: フィルとキー、FILL: フィルのみ、KEY: キーのみ
- (3) テンキーでファイルナンバーを指定してSETボタンを押します。
入力例) 1:1 SET
** コロン(:)の前の「1」がドライブナンバー、後の「1」がファイルナンバーです。
ドライブナンバーの変更がない場合は「1:」は省略できます。
- (4) 「WRITE SURE?」のメッセージが表示されます。
C ボタンを押すと書き込みがキャンセルされ、SETボタンを押すと書き込みが実行されます。書き込み中は「WRITING」のメッセージが表示されます。
- (5) 既に同じファイルナンバーが存在した場合は「OVER WRITE SURE?」のメッセージが表示されます。
C ボタンを押すと書き込みがキャンセルされ、SETボタンを押すと書き込みが実行されます。書き込み中は「WRITING」のメッセージが表示されます。
- (6) 書き込みが正常に終了すると「WRITE END」のメッセージが表示され、ファイルナンバーが「+1」されます。

22. ファイルのコピー

ファイルをコピーします。

- (1) **WRITE** ボタンを押し、ツマミ1でCOPY SOURCEを選択します。
- (2) テンキーでコピー元のファイルナンバーとコピー先のファイルナンバーを指定して**SET** ボタンを押します。
入力例) 1:1 ~ 5 > 1:10 **SET**
ドライブナンバー1のファイルナンバー1から5を同じドライブのファイルナンバー10からへコピーします。
ドライブナンバーの変更がない場合は「1:」は省略できます。
- (3) 「COPY SURE?」のメッセージが表示されます。
C ボタンを押すとコピーがキャンセルされ、**SET** ボタンを押すとコピーが実行されます。
コピー中は「COPYING」のメッセージが表示されます。
- (4) 既に同じファイルナンバーが存在した場合は「OVER COPY SURE?」のメッセージが表示されます。**C** ボタンを押すとコピーがキャンセルされ、**SET** ボタンを押すとコピーが実行されます。書き込み中は「COPYING」のメッセージが表示されます。
- (5) コピーが正常に終了すると「COPY END」のメッセージが表示されます。

23. ファイルの削除

ファイルを削除します。

- (1) **WRITE** ボタンを押し、ツマミ1でDELETEを選択します。
- (2) テンキーで削除するファイルナンバーを指定して**SET** ボタンを押します。
入力例) 1:1 ~ 5 **SET**
ドライブナンバー1のファイルナンバー1から5を削除します。
ドライブナンバーの変更がない場合は「1:」は省略できます。
- (3) 「DELETE SURE?」のメッセージが表示されます。
C ボタンを押すと削除がキャンセルされ、**SET** ボタンを押すと削除が実行されます。
削除中は「DELETING」のメッセージが表示されます。
- (4) 削除が正常に終了すると「DELETE END」のメッセージが表示されます。

24. ドライブのフォーマット

ドライブをフォーマットします。

フォーマットを実行するとドライブの内容はすべて失われますので、重要なファイルはCOPYモード等でバックアップしておいてください。

(1) **WRITE** ボタンを押し、ツマミ1でFORMATを選択します。

(2) テンキーでフォーマットするドライブナンバーを指定して **SET** ボタンを押します。

入力例) 1: **SET**

(3) 「FORMAT SURE?」のメッセージが表示されます。

C ボタンを押すとフォーマットがキャンセルされ、**SET** ボタンを押すとフォーマットが実行されます。

フォーマット中は「FOMATTING」のメッセージが表示されます。

(4) フォーマットが正常に終了すると「FORMAT END」のメッセージが表示されます。

6. FTP転送

1. 概要

TCP/IPネットワークに接続されたLK-90HD/SDのFTPサーバ機能を使用して、PC等の作画機で作成したJPEG形式の画像ファイルをFTPクライアントからFTPプロトコルを使用してLK-90HD/SDに静止画として転送できます。

2. 接続

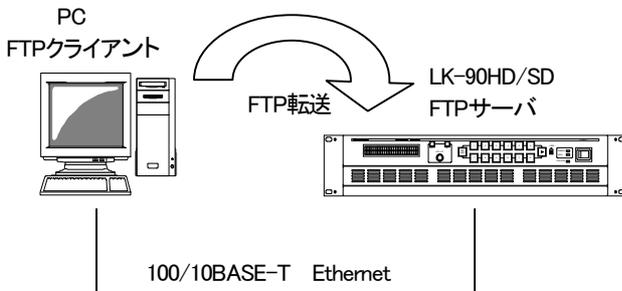


図6-1 接続図

3. ネットワーク設定

本体正面のMODEボタン、または操作パネルのWRITEボタンを押し、つまみ1でアドレス(IP ADDRESS、SUBNET MASK、DEFAULT GATEWAY)を選択し、つまみ2,3とSETボタンでネットワーク管理者から割り当てられたアドレスを設定します。

**詳細はP-26の「IP ADDRESS」「SUBNET MASK」「DEFAULT GATEWAY」を参照してください。

各アドレスの設定後、LK-90HD/SDの電源を立ち上げなおすことにより各アドレスが反映されます。

PC側のネットワーク設定はPC付属の取扱説明書を参照してください。

4. ネットワーク接続の確認

LK-90HD/SDとPCクライアントが正常にネットワークで接続されているかを“ping”コマンドで確認します。ここでは仮にLK-90HD/SDのIPアドレスを「192.168.1.10」とします。

LK-90HD/SDの電源が入っていることを確認してください。

・Windowsの場合

スタート> プログラム> MS-DOSプロンプトを起動します。

そこから“ping 192.168.1.10”を入力し以下のようなメッセージが表示されるのを確認してください。

```
C:\>ping 192.168.1.10

Pinging 192.168.1.10 with 32 bytes of data :

Reply from 192.168.1.10: bytes=32 time<10ms TTL=128

C:\>
```

“Reply from …”と表示されればOKですが、“Request time out”のメッセージが表示された場合PCクライアントからの接続が正常に行えていません。ケーブルの接続、LK-90HD/SDおよびPCクライアントのネットワーク設定を確認してください。

5. 転送ファイル仕様

(1) JPEGファイル

JPEGファイルはFTPサーバ機能時のみ受信できます。

[仕様]

画像サイズ : 1920×1080、1280×720、720×486

フォーマット : JFIF形式

圧縮方式 : JPEG圧縮

カラー : RGB各8ビット

RGBの配置順序: RGB

拡張子 : JPG、jpg

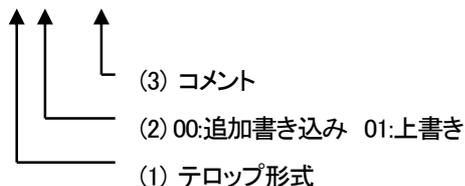
[ファイル名]

受信したファイルはFTP 設定で設定された場所に保存されます。

先頭の3文字(半角)でファイル種類を設定し、その後にコメントを入れます。

ファイルの拡張子には必ず “.JPG” または “.jpg” を付けます。

△○○□□□□……□□.JPG



(1) テロップ形式 (半角1文字)

F : FILL板テロップ

K : KEY板テロップ

(2) 書き込み (半角2桁)

書き込み方法を示します。

00:追加書き込み 01:上書き

(3) コメント

コメントを入力します。LK-90HD/SDには全角で最大32文字がコメントとして登録され、それ以降の文字は切り捨てられます。先頭4文字(半角)は、0001～9999のファイル格納場所を指定します。例: K010001文字列.JPG

**書き込み注意

K000001.JPG + F000001.JPGを追加書き込みモードで転送した場合、内蔵HDD内ではFILL+KEYの画像データとして保存されます。FILLとKEYの画像内容が違うものを同じファイル格納番号(0000～9999)で転送しないでください。

K010001.JPG を上書きモードで転送した場合、0001番に現在格納されているファイルはK010001文字列.JPG によって上書きされます。FILLも同様です。

すでに0001番にKEYが格納されている場合、K000001.JPGを追加書き込みモードで転送してもファイルは上書きされず。FILLも同様です。

書込み時の内蔵HDDファイル状態表

内蔵HDD 保存ファイル	FILL	KEY	FILL+KEY
FILL追加書込み	FILL上書き保存	FILL+KEY保存	FILL上書き保存 (KEY削除)
FILL上書き	FILL上書き保存	FILL保存 (KEY削除)	FILL上書き保存 (KEY削除)
KEY追加書込み	FILL+KEY保存	KEY上書き保存	KEY上書き保存 (FILL削除)
KEY上書き	KEY保存 (FILL削除)	KEY上書き保存	KEY上書き保存 (FILL削除)

6. FTP 転送操作手順(例)

FTPを使用してファイルの転送を行います。PCクライアントはWindows PCを使用します。

ここでは仮にLK-90HD/SDのIPアドレスを「192.168.1.10」とします。

(1) PCクライアントからの転送

- 1) 前ページの「5.転送ファイル仕様」を参照し転送用の画像を用意します。
- 2) Windowsのスタートボタン> プログラム> MS-DOSプロンプトを起動します。
- 3) MS-DOSプロンプトから“ftp”コマンドを入力します。
“ftp>”が表示されます。
- 4) “open 192.168.1.10”を入力します。
ユーザー名とパスワードは特に指定せず、そのままエンターを押します。
以上が正常に終了すると下の画面になりLK-90HD/SDのFTPサーバへのログインが完了します。

```

C:\>ftp
ftp>open 192.168.1.10
Connected to 192.168.1.10
220 LK-90HDSD FTP Server ready
User (xxx.xxx.xxx.xxx(none)):USER
331 Password required
Password:xxxx
230 Logged in
ftp> |
    
```

5) “put”コマンドで転送元ファイルを指定して転送します。

[書式]put ファイル名…ファイル名はフルパスで指定するか、ftpコマンドを入力したフォルダ内のTIFFファイルを指定します。

転送が正常に終了すると以下のメッセージが表示されます。

LK-90HD/SDの画面に転送した画像が表示され、選択しているページに保存されます。

保存先にファイルが存在する場合、上書きを行うので注意してください。

```
ftp>binary
200 Command successful
ftp>put xxx.tif
200 PORT Command successful.
150 Opening data connection
226 Transfer complete
ftp : xxx bytes sent in x.xx Seconds xx.xxKbytes/sec.
ftp>
```

転送するファイルが動画の場合は続けて“put”コマンドを使用します。

転送を終了させる場合は“close”コマンドで接続を終了させます。

7. 外部インターフェース

1. GPIコネクタ

外部からの制御に使用します。(本体背面)

ピン番号	信号	機能
1	SUPER1 TAKE	SUPER1 TAKE 入力
2	SUPER2 TAKE	SUPER2 TAKE 入力
3	FILE1 CHANGE	FILE CH1 CHANGE 入力
4	FILE2 CHANGE	FILE CH2 CHANGE 入力
5	FILE WRITE **1	FILE WRITE 入力
6	FORMAT HD	FORMAT HD選択 入力
7	FORMAT SD	FORMAT SD選択 入力
8	入力予備	入力予備
9	GND	GND
10	SUPER1 ON	SUPER1 ONAIR TALLY 出力
11	SUPER2 ON	SUPER2 ONAIR TALLY 出力
12	FILE WRITE END **2	FILE WRITE END 出力
13	PSY ALARM	PSY ALARM 出力
14	FAN ALARM	FAN ALARM 出力
15	TALLY COMMON	TALLY COMMON

**1 「FILE WRITE」は、WRITEモードで入力があった場合有効になります。

現在のWRITEモードとファイルナンバーでファイルの書き込みを行います。

「WRITE SURE」などの確認メッセージは表示されません。

既に同じファイル番号があれば上書きされます。

**2 「FILE WRITE END」は、書き込みが終了してから約100ms間、接点がCLOSEします。

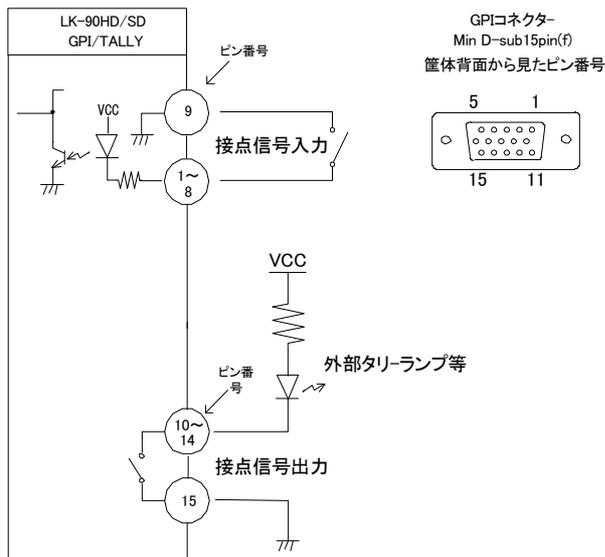


図7-1 GPI仕様

注) TTL信号で制御する際は、吸い込み電流が12mAまで耐えられるデバイスで駆動してください。
接点の絶対最大定格は60V、300mAです。外部抵抗で電流を300mA以下に制限してください。

2. RS-422コネクタ

外部制御用シリアルポートです。(本体背面)

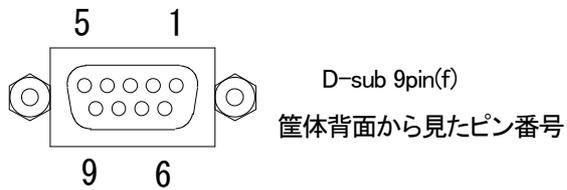


図7-2 RS-422コネクタ

ピン番号	信号	入出力
1	GND	—
2	TXD-	出力
3	RXD+	入力
4	GND	—
5	—	—
6	GND	—
7	TXD+	出力
8	RXD-	入力
9	GND	—

3. 10/100BASE コネクタ

LAN制御用コネクタです。ネットワークでのファイル転送に使用します。(本体背面)

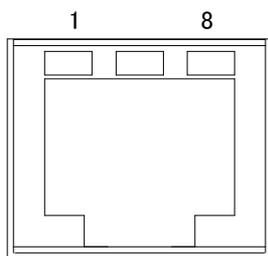


図7-3 10/100BASEコネクタ

ピン番号	信号	入出力
1	TX+	出力
2	TX-	出力
3	RX+	入力
4	—	—
5	—	—
6	RX-	入力
7	—	—
8	—	—

4. SCSI コネクタ

ハードディスクや光磁気ディスクのSCSI記憶装置が接続できます。(本体背面)

(68ピンSCSI II ハーフピッチコネクタ)

接続する際は以下の項目を守ってください。

- ・接続(結線)時は、LK-90HD/SD本体、各SCSI機器の電源を落としてから行ってください。
- ・終端器(ターミネータ)を必ず使ってください。
- ・IDは1番から間を開けず、順番に設定してください。
(内蔵ハードディスクは0です)
- ・LK-90HD/SD本体の電源を入れるよりも先に、外部のSCSI機器の電源を入れてください。

5. TALLYコネクタ

パネルセレクターのタリー出力です。(パネルセレクター背面)

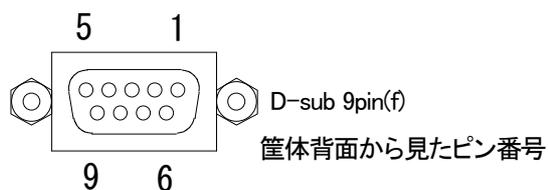
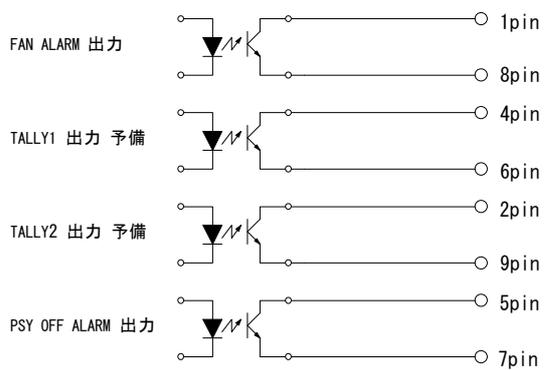


図7-4 TALLYコネクタ

ピン番号	信号	機能
1	FAN ALARM	FAN ALARM 出力
2	TALLY 2	TALLY 予備出力
3	NC	NC
4	TALLY 1	TALLY 予備出力
5	PSY OFF ALARM	PSY OFF ALARM 出力
6	TALLY 1	TALLY 予備出力
7	PSY OFF ALARM	PSY OFF ALARM 出力
8	FAN ALARM	FAN ALARM 出力
9	TALLY 2	TALLY 予備出力



注) 接点の絶対最大定格は60V、300mAです。

8. トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処方法です。

(文中の> は対処方法を示しています)

現象 電源が入らない！

原因 ・本体正面の電源スイッチはON側になっていますか？

・本体の電源ケーブルのプラグはコンセントに挿入されていますか？

・本体のヒューズは切れていませんか？

> ヒューズの交換方法は次ページの保守・点検を参照してください。

もし交換してすぐにヒューズが切れるようであれば、直ちに使用を中止し当社製造技術部までご連絡ください。

現象 FAN ALMランプが点滅する！

原因 ・FANの吹き出し口から異音がしていませんか？

> FANの吹き出し口に埃などが目詰まりしている場合、本体の電源をOFFし、清掃してください。

> 異音がしている場合はFANの交換が必要です。当社製造技術部までご連絡ください。

・FANが停止していませんか？

> 停止している場合はFANの交換が必要です。当社製造技術部までご連絡ください。

現象 出力映像が乱れる！

原因 ・映像フォーマットの設定がシステムに合っていますか？

> システムの映像フォーマットに合わせてください。

詳細は「SYSTEMの設定のFORMAT」(P-14)を参照してください。

・REF信号は接続されていますか？

> ブリッジ接続されている場合は、75Ω 終端の確認をしてください。

> ブリッジ接続しない場合は、75Ω 終端スイッチをON(上側)にしてください。

現象 正面パネルのボタンを押しても反応しない！

原因 ・LOCKスイッチの設定がLOCK解除側になっていますか？

お問い合わせは、当社製造技術部までご連絡ください。

9. 保守・点検

1. 電源ヒューズの交換方法

本体の電源ヒューズが切れた場合の交換方法です。

ヒューズ交換の際は、危険ですので必ず電源OFFの状態で作業してください。

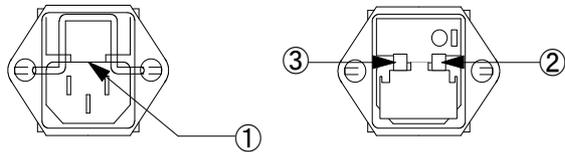


図8-1 電源ヒューズ

- (1) 本体の電源をOFFにします。
 - (2) 電源ケーブルを取り外します。
 - (3) ①の凹部分をマイナスドライバーなどでヒューズボックスを手前に引き出します。
 - (4) ②の部分が電源ヒューズです。断線を確認して下さい。
 - (5) 断線している場合は、③の予備ヒューズと交換して下さい。
 - (6) 引き出したヒューズボックスを元の位置に差し込みます。
- 注) ヒューズは規定された容量(125V/3A)を実装してください。

10. 仕様

1. 定格

・本体

●入力信号 **1

- ・REF信号 3値SYNC 0.6V_{p-p}/75Ω
BNC1系統ブリッジ可または BBS 0.43V_{p-p}/75Ω
(3値SYNCとBBSは自動切り替え)
- ・本線映像信号 SMPTE-292M or SMPTE-259M BNC 1系統
- ・FILL信号 SMPTE-292M or SMPTE-259M BNC 1系統
- ・KEY信号 SMPTE-292M or SMPTE-259M BNC 1系統

●出力信号 **1

- ・本線映像信号 SMPTE-292M or SMPTE-259M BNC 2系統
- ・PREVIEW信号 SMPTE-292M or SMPTE-259M BNC 1系統
- ・FILE NEXT信号 CH1 SMPTE-292M or SMPTE-259M BNC 1系統
- ・FILE NEXT信号 CH2 SMPTE-292M or SMPTE-259M BNC 1系統
- ・モニタ信号 アナログGBR(PCモニタ用)Min D-sub15pin 1系統
(サムネール表示用)

●SDIデジタルフォーマット

- 1080i1920×1080i(59.94Hz)
- 720p1280×720p(59.94Hz)
- 525i720×487i(59.94Hz)

●GPI D-sub15ピン (f)1系統

- ON-AIRテイク MAKE接点入力 ×4 **2
- ON-AIRタリ一 MAKE接点出力 ×3 **3

●NETWORK 10/100BASE RJ45

●SCSI WIDE-SCSI 68ピン 外部拡張

●HDD 18GB

●RS-422 D-sub9ピン (f)1系統

●PANEL BNC

●電源 AC90~110V 50/60Hz 100VA

●外形寸法 420(W)×44(H)×550(D)mm(ゴム足、突起物を除く)

●質量 10kg

●動作温度 0~40°C

●動作湿度 20~80%RH (ただし結露なき事)

**1 入出力で各フォーマットを混在することはできません。ご注意ください。

**2 吸い込み電流が12mAまで耐えられるデバイスで駆動してください。

**3 接点の最大定格は60V、300mAです。

・操作パネル

- CONT BNC
- 電源 AC90～110V 50/60Hz 13VA
- 外形寸法 420(W)×132(H)×65(D)mm(ゴム足、突起物を除く)
- 質量 2.5kg
- 動作温度・動作湿度 0～40°C・20～80%RH (ただし結露なき事)

・パネルセレクター

- HOST BNC
- PANEL BNC
- TALLY D-sub9ピン (f)1系統
 - ** 接点の最大定格は60V、300mAです。
- 電源 AC90～110V 50/60Hz 60VA
- 外形寸法 420(W)×44(H)×450(D)mm(突起物を除く)
- 質量 5.5kg
- 動作温度・動作湿度 0～40°C・20～80%RH (ただし結露なき事)

2. 性能

●映像

サンプリング周波数 74.18MHz

本線信号分解能 10bit

本線遅延時間

インプットロック HD: 4.7 μ s, SD: 15.6 μ s

リファレンスロック HD: 3.6 μ s, SD: 6 μ s

フィル、キー遅延時間 本線遅延時間+1フレーム

3. 機能

●スーパー

キー入力 ハイクリップ、ロークリップ調整

スーパー色 バリアブル・カラー、フィル入力

プライオリティスーパー

●エッジ

エッジ色 バリアブル・カラー、外部キーエッジ部分に相当するフィル入力(背景色)

ハードエッジ幅 2ドット、4ドット、6ドット

ソフトエッジ幅 2ドット、4ドット、6ドット

ドロップエッジ幅 6ドット

●トランジション

カット、フェード

トランジション時間 1～150 FRAME

●ポジション移動

FILL: ±30ドット、±8ライン(2ドット、2ラインステップ)

KEY: ±30ドット、±8ライン(2ドット、2ラインステップ)

●ファイル

ファイル枚数 1500枚

サムネール表示、コピー、削除

注) SDIデジタルフォーマット違いのファイルの表示はできません。

●ファイルのLAN転送

FTPを使用して転送を行います。ファイルフォーマットはJPEGです。

●本体、パネルのセレクト機能

本体、パネル間にパネルセクターを接続することにより本体30台、パネル12台を自由に選択する事ができます。

1台の本体を複数のパネルが同時に選択できます。操作は、後操作優先です。

また、1台のパネルでHOST SELボタンを複数同時押しで1台のパネルから複数の本体を同時に選択できます。

注) 本体同時選択時の動作には、次の制限がかかります。

スーパー1に關係するボタンは、操作できなくなります。

スーパー2は、ONであってもOFFにLCUTモードになります。

その他の設定、スーパー装飾、ファイル關係は、選択後操作されたところのみの設定になります。

●本体正面でLINE映像を強制バイパスできます。

●PANELロック、BOTHボタンの操作は、1秒長押し操作になっています。

●HOST SELボタンは、PANELロック中でも本体を自由に選択できます。

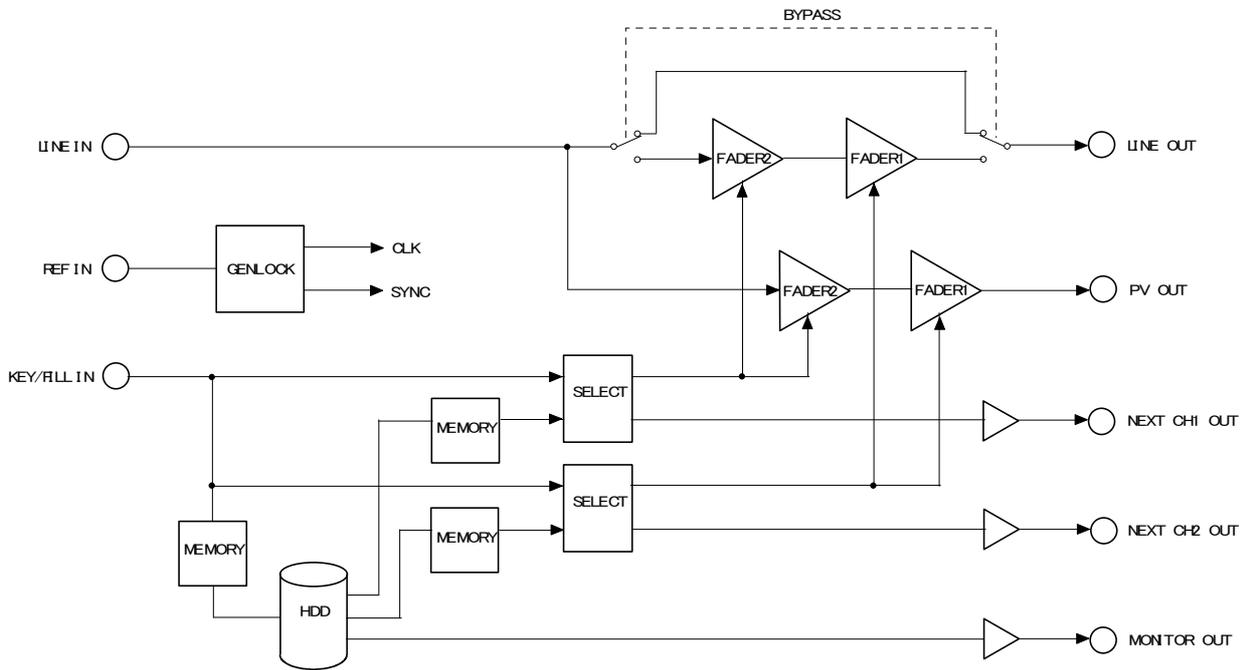
●ファイルNEXT出力には、1CH、2CHのセパレートモードとミックスモードがあります。

セパレートモードは、各々がNEXT OUT CH1、CH2に出力されます。

ミックスモードは、CH1、CH2がプライオリティーミックスされてNEXT OUT CH1、CH2に同じ物が出力されます。

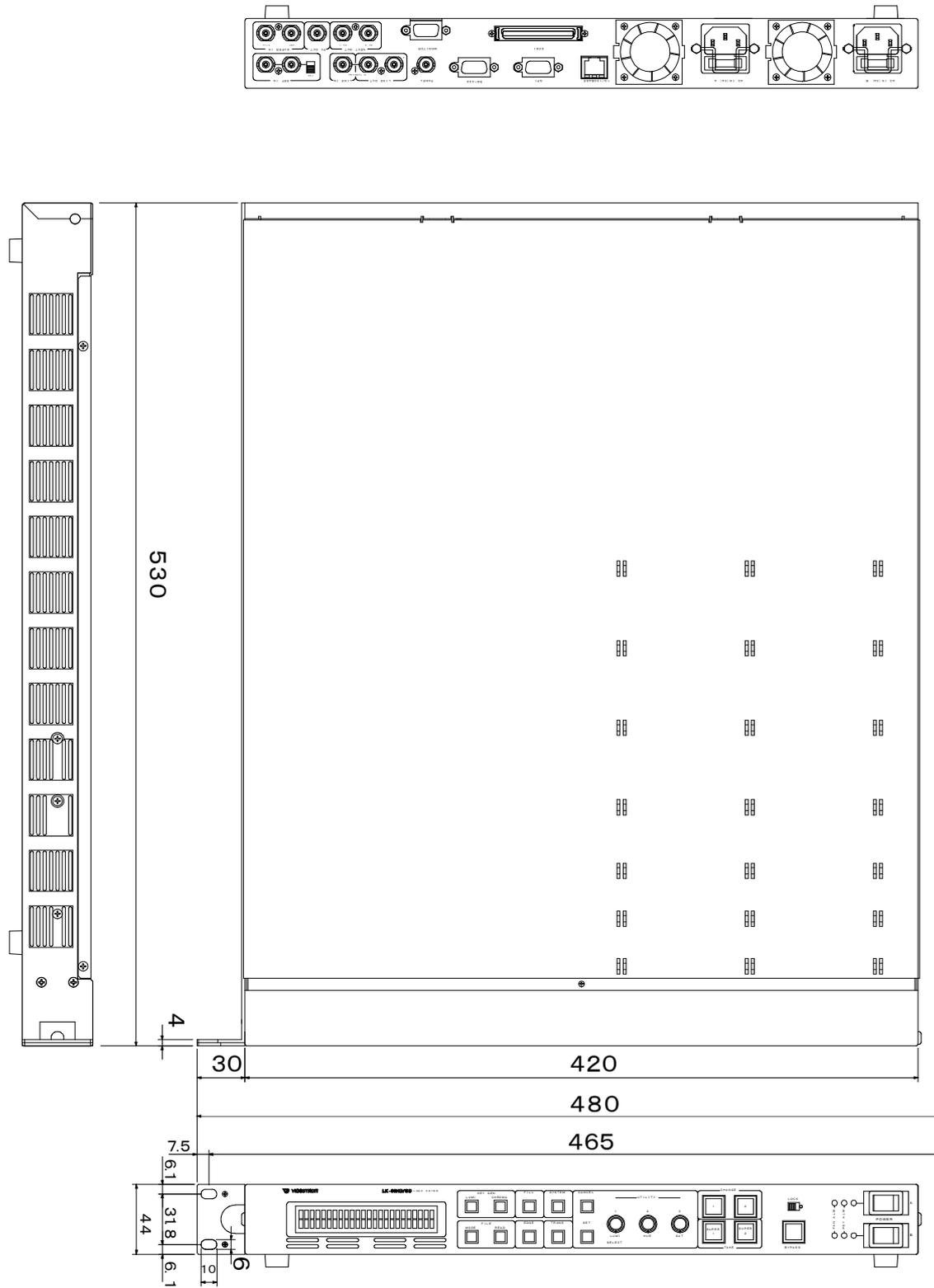
**プライオリティーミックスは、同じファイル内にKEYとFILLが書き込まれていることが前提となります。

11. 系統図

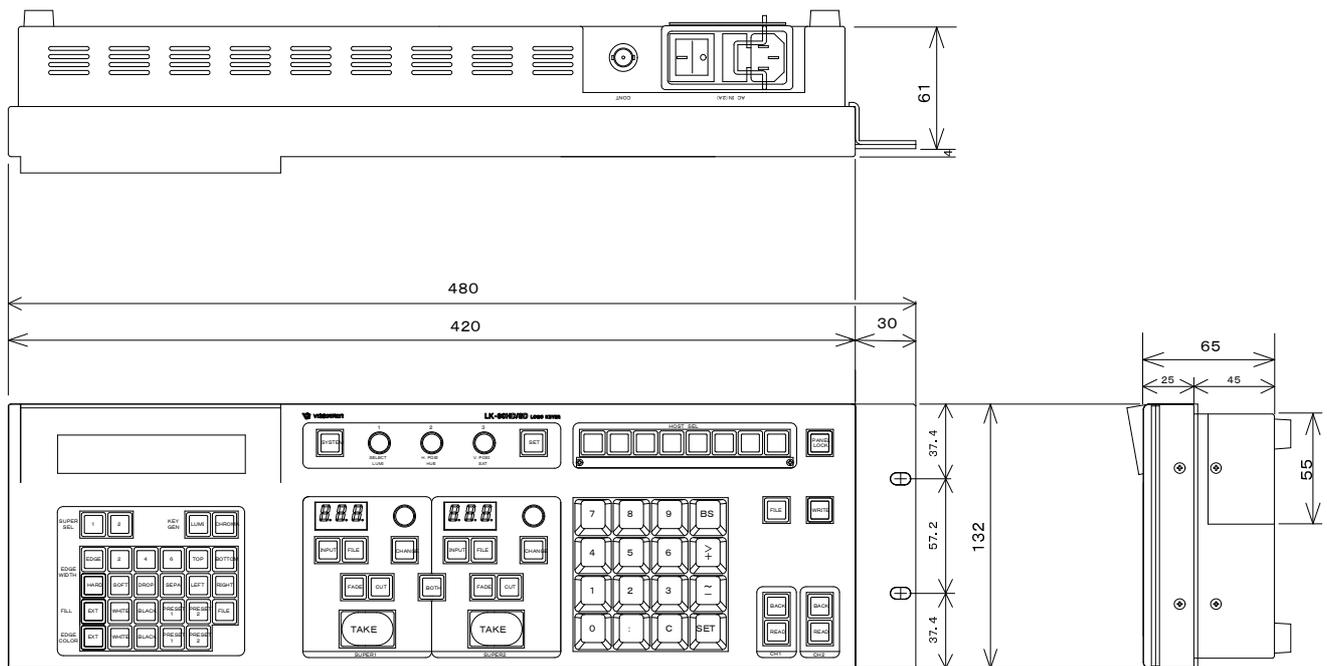


12. 外形寸法図

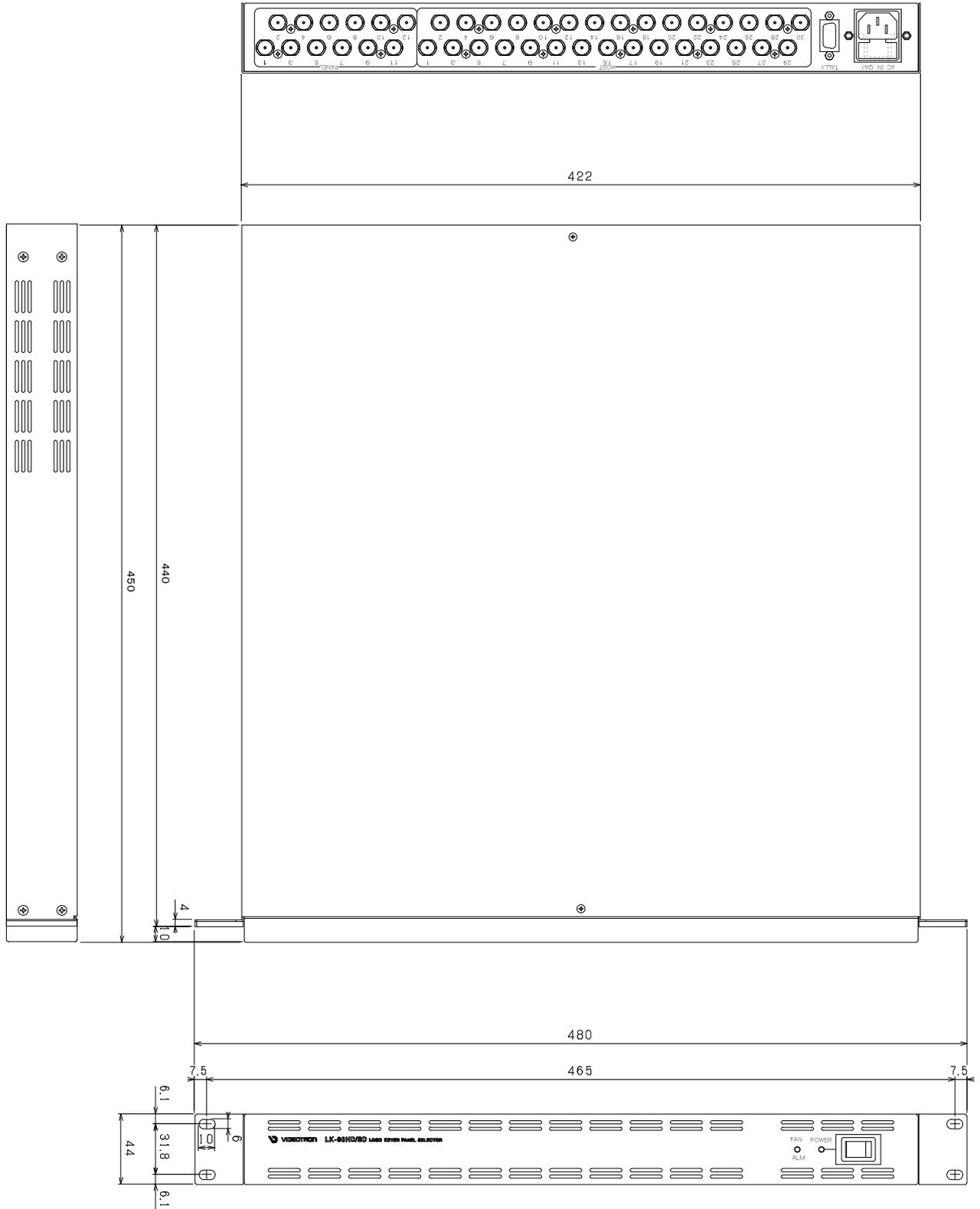
・本体



・操作パネル



・パネルセレクター



御使用各位 殿

ビデオトロン株式会社

製造技術部

緊急時の連絡先について

日頃は、当社の製品をご使用賜わりまして誠にありがとうございます。
ご使用中の製品が故障する等の緊急時には、下記のところへご連絡いただければ
適切な処置を取りますので宜しくお願い申し上げます。

記

◎営業日の連絡先

ビデオトロン株式会社 製造技術部

〒193-0835 東京都八王子市千人町 2-17-16

TEL042-666-6329

FAX042-666-6330

受付時間 8:30~17:00

e-mail:cs@videotron.co.jp

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話042-666-6311

緊急時090-3230-3507

受付時間9:00~17:00

※携帯電話の為、通話に障害を起す場合がありますので、あらかじめご了承願います。

無断転写禁止

- ・このファイルの著作権はビデオトロン株式会社にあります。
- ・このファイルに含まれる文書および図版の流用を禁止します。